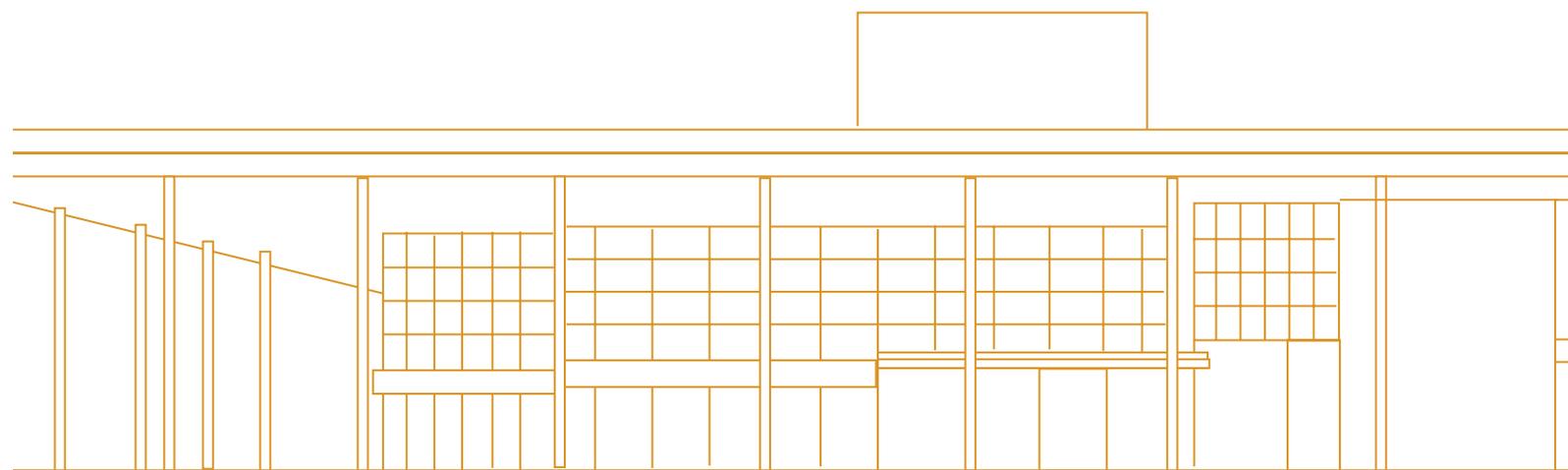


平成24年度

年報

VOL.25

米沢市上杉博物館



刊行にあたって

平成24年度は春の特別展「上杉鷹山の財政改革～国と民のしあわせ～」を皮切りに、6本の展覧会を開催しました。開館以来2度目の鷹山展は前回とはテーマを変え、改革の新たな側面を紹介しました。初夏と秋には企画展「日本の洋画始まる 日本近代洋画への道」[美の系譜 国画会にみる山形ゆかりの美術]を開催し、幅広いジャンルの美術作品をご覧いただきました。夏休みを念頭に置いた「安部朱美創作人形展 昭和の家族きずな」は幅広い年代層の方々に楽しんでいただきました。また、「米沢藩絵図の世界」「上杉家文書国宝への道～修復と紙の世界～」では館蔵品を中心に、上杉家ゆかりの充実したコレクションをご紹介できる機会となりました。

教育普及事業では、展示事業に関連したギャラリートークや講演会をはじめ各種ワークショップを開催し、幅広い内容の事業を展開しました。

ここに、平成24年度の年報を発刊するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成25年10月
米沢市上杉博物館

目 次

米沢市上杉博物館の沿革	2	4 収 集	26
平成24年度事業報告		(1) 資料収集	26
1 展 示	3	(2) 平成24年度受入資料	27
(1) 常設展示	3	5 保 管	34
(2) 企画展示	6	(1) 資料整理・保管	34
2 教育普及	18	(2) 修理	34
(1) ワークショップ	18	(3) 博物館環境	36
(2) プレイショップ	21	6 管理・運営	37
(3) 学校との連携	21	(1) 利用状況	37
(4) 情報ライブラリー	24	(2) 平成24年度発行物	37
(5) レファレンス	24	(3) ミュージアムショップ商品紹介	38
(6) 市民との協働	24	(4) 事業評価	38
3 調 査	25	組 織	39
(1) 館蔵資料調査	25		
(2) 資料収集に伴う調査	25		
(3) 展覧会準備調査	25		
(4) 資料調査員による調査	25		
(5) 上杉家・米沢藩関連資料調査	25		

米沢市上杉博物館の沿革

米沢市上杉博物館は、昭和5年元南置賜郡役所に設置された米沢郷土館を前身とし、その後、米沢郷土館、米沢博物館、米沢市立上杉博物館と名称を変え、地域博物館としての使命を果たしてきた。

米沢市市制100周年となった平成元年に、上杉家から洛中洛外図屏風（平成7年国宝指定）や上杉家文書（平成13年国宝指定）などの寄贈を受け、これを契機に新博物館構想の検討を重ね、平成7年には第7次米沢市総合計画に位置づけられた。平成13年9月、松が岬公園に隣接する県立米沢工業高校跡地に米沢市上杉博物館が複合文化施設としてオープンした。平成23年に10周年を迎え、現在に至る。

年 月	事 項
昭和5年10月	元南置賜郡役所に米沢郷土館開設
昭和13年4月	市制50周年記念として米沢市に移管され、市立図書館に併設
昭和27年9月	博物館相当施設として登録、市立米沢郷土館と称す
昭和30年9月	市立米沢図書館に移転
昭和37年7月	博物館法による設置条例制定、市立米沢博物館と改称
昭和41年11月	上杉神社敷地内に市立米沢博物館新館完成
昭和42年4月	博物館法による設置条例制定、米沢市立上杉博物館と改称
昭和42年6月	博物館施設として登録
平成元年	上杉家より米沢市へ洛中洛外園屏風及び上杉家文書が寄贈される
平成11年5月	米沢市立上杉博物館閉館（新博物館開設準備のため休館）
平成13年9月29日	米沢市上杉博物館開館
平成18年4月1日	財団法人米沢上杉文化振興財団が指定管理者となる
平成21年	NHK大河ドラマ「天地人」の開催に伴い「米沢 愛と義のまち 天地人博」開催（平成21年1月24日～平成22年1月11日／会期中入場者515,775人）
平成21年10月26日	開館以来の常設展入館者数が100万人に到達
平成22年4月	常設展示室上杉文華館リニューアル
平成23年3月	11日の東日本大震災により15日～4月15日まで臨時休館
平成23年9月29日	米沢市上杉博物館 開館10周年

施設の概要

名称(設置者)	米沢市上杉博物館（米沢市）※置賜文化ホール（山形県）と合築
管理運営	米沢市・(公財) 米沢上杉文化振興財団
設計監理	(株) 関空間設計
建築工事	戸田(株)・(株) 黒金建設工事共同企業体
電気工事	(株) 弘電社
空調設備工事	弘栄設備工業(株)
衛生設備工事	情野冷熱工業(株)
展示工事	(株) 乃村工藝社
敷地面積	33,876.02m ²
延床面積	4,725.937m ² (博物館部分)
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造り 2階建
開館	平成13年9月29日



平成 24 年度事業報告

1 展 示

(1) 常設展示

常設展示室概要

常設展示室では、「米沢の歴史と文化」を中心テーマに据え、「みて ふれて たのしむ」をコンセプトに五感で楽しめる展示を展開している。関ヶ原の合戦から上杉鷹山の登場までを結ぶ「置賜歴史街道」や洛中洛外図屏風の魅力に触れる「洛中洛外図の世界」、上杉鷹山の藩政改革をドラマ仕立てで紹介する「鷹山シアター」、国宝「上杉本 洛中洛外図屏風」(原本/複製) や国宝「上杉家文書」を入れ替えながら紹介する「上杉文華館」などから構成される。

上杉文華館

平成23年度に引き続き、国宝「上杉家文書」に記された贈答について、贈答品やその機会、人間関係などを紹介した。上杉本洛中洛外図屏風の複製も合わせて展示した。春・秋定例の洛中洛外図屏風の原本展示も行った。展示の理解を深めるため、各会期中1回、コレクショントーク(展示解説)を行った。平成25年3月26日からは「国宝上杉家文書が伝える上杉鷹山の生涯」を展示テーマとするシリーズに衣替えした。

文華館展示リスト

資料名	員数	法量 (cm)	時代	作者
① 平成24年 3月27日(火)～4月24日(火) 贈り物が必要な時				
国宝 上杉本洛中洛外図屏風(4/21～5/22)	六曲一双	各160.4×365.2	室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風(3/29～4/20)	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 山内重俊書状	一通	19.8×42.2	(年未詳) 6月3日	
2 秋庭元当奉書	一通	19.8×46.2	(大永5年・1525) 閏11月14日	
3 徳川秀忠御内書	一通	22.2×54.1	(元和6年・1620) 8月5日	
4 鍋島勝茂書状	一通	37.4×51.0	(寛永5年・1628) 10月13日	
上杉定勝書状案	一通	37.2×52.6	(年月日未詳) (17世紀)	
② 4月26日(木)～5月22日(火) 贈答と「春」				
国宝 上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 上杉謙信書状	一通	17.4×42.7	(年未詳) 正月8日(16世紀)	
2 栗林肥前守書状写	一通	36.5×34.4	(天正10年・1582カ) 2月28日	
3 伊勢貞忠書状	一通	16.2×44.0	(大永8年・1528カ) 6月20日	
4 伊勢貞忠書状	一通	16.3×48.3	(大永5年・1525) 閏11月21日	
③ 5月24日(木)～6月26日(火) 海外の文物				
複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 杉興相書状	一通	16.6×49.0	(年未詳) 11月10日(16世紀)	
2 快宣書状	一通	21.0×43.5	(年未詳) 3月21日(16世紀)	
3 斎藤元陸副状	一通	28.4×47.8	(年未詳) 6月19日(16世紀)	
4 徳川秀忠書状	一通	37.9×57.2	(慶長3年・1598) 3月20日	
④ 6月28日(木)～7月24日(火) 美術品はいかが				
複製 国宝上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 北条氏綱書状	一通	32.5×15.0	(大永4年・1524カ) 11月23日	
2 北条氏綱書状	一通	29.6×13.5	(大永5年・1525) 4月20日	
3 斎藤元陸副状	一通	20.6×47.5	(大永5年・1525) 閏11月14日	
4 武田勝頼書状	一通	16.8×47.9	(天正7年・1579) 9月17日	

資料名	員数	法量 (cm)	時代	作者
⑤ 7月26日(木)～8月21日(火) 夏の贈答				
複製 国宝 上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 武田勝頼書状	一通	33.5×32.5	(天正9年・1581)5月17日	
2 武田勝頼書状	一通	33.4×32.0	(天正7年・1579)7月19日	
3 上杉定勝書状	一通	18.4×40.6	(年未詳)6月1日(17世紀)	
4 北条氏康書状	一通	35.2×37.5	(永禄12年・1569)6月10日	
⑥ 8月23日(木)～9月25日(火) 教養を広げるために				
複製 国宝 上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 西洞院時秀書状	一通	25.2×41.7	(永禄2年・1559)5月15日	
2 近衛植家書状	一通	32.5×47.7	(天正2年・1559)	
3 上杉景勝書状	一通	34.1×47.8	(元和6年・1620カ)4月13日	
4 直江兼統書状	一通	15.4×65.6	(年未詳)925日(17世紀)	
⑦ 9月27日(木)～10月23日(火) 鷹いろいろ				
複製 国宝 上杉本洛中洛外図屏風(～10/11)	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町時代(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉本洛中洛外図屏風(10/12～11/8)	六曲一双	各160.4×365.2	室町時代(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 長尾顕景書状	一通	30.8×31.2	(年未詳)10月26日(16世紀)	
2 斯波政綿書状	一通	21.6×49.3	(大永4年・1524)10月9日	
3 江戸幕府年寄衆連署奉書	一通	35.7×53.7	(元和元年・1615)11月20日	
4 上杉景勝書状	一通	35.9×53.3	(元和6年・1520)閏12月1日	
⑧ 10月25日(木)～11月27日(火) 秋の贈答				
国宝 上杉本洛中洛外図屏風(～11/8)	六曲一双	各160.4×365.2	室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
複製 国宝 上杉本洛中洛外図屏風(11/9～)	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 豊臣秀頼黒印状	一通	23.3×57.8	(年未詳)7月27日(17世紀)	
2 豊臣秀吉朱印状	一通	22.9×65.7	(年未詳)9月5日(16世紀)	
3 豊臣秀吉朱印状	一通	21.7×59.4	(文禄2年・1593)閏9月3日	
4 上杉景勝書状	一通	34.2×47.4	(年未詳)7月28日(17世紀)	
⑨ 11月29日(木)～12月24日(月祝) 馬をめぐって				
複製 国宝 上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町時代(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 畠山義綱書状	一通	19.7×39.3	(年未詳)3月7日(16世紀)	
2 斎藤元陸書状	一通	16.1×47.0	(大永5年・1525)閏11月18日	
3 足利義植御内書	一通	33.2×49.6	(年未詳)12月30日(16世紀カ)	
4 徳川秀忠書状	一通	17.8×47.3	(年未詳)正月3日(17世紀)	
⑩ 平成25年1月1日(火祝)～1月27日(日) 名誉あるもの				
複製 国宝 上杉本洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町時代(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 足利義晴御内書	一通	32.2×46.6	(享禄3年・1530)2月5日	
2 大館常興書状	一通	19.3×51.3	(享禄3年・1530)2月5日	
3 足利義晴御内書	一通	35.5×52.7	(享禄3年・1530)9月28日	
4 大館常興副状	一通	26.0×42.7	(享禄3年・1530)9月28日	

資料名	員数	法量 (cm)	時代	作者
⑪ 1月29日(火)～2月24日(日) 冬の贈り物				
複製 国宝 上杉本 洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 遠山康光書状	一通	32.6×32.4	(永禄12年・1569)11月14日	
2 上杉景勝書状	一通	36.0×54.0	(年未詳)12月9日(17世紀)	
3 武田勝頼書状	一通	35.6×48.5	(天正9年・1581)11月22日	
4 直江景綱等三名連署状	一通	35.3×35.8	(元亀3年・1572)10月11日	
⑫ 2月26日(火)～3月24日(日) お金を贈る				
複製 国宝 上杉本 洛中洛外図屏風	六曲一双	各160.4×365.2	原本 室町時代(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 足利義輝御内書	一通	18.4×55.3	(天文21年・1552)5月25日	
2 津崎光勝書状	一通	16.0×42.0	(天文21年・1552)5月28日	
3 上杉謙信書状	一通	17.6×46.2	(年未詳)12月24日(16世紀)	
4 豊臣秀吉朱印状	一通	46.7×66.3	(天正18年・1590)4月27日	
⑬ 3月26日(火)～4月23日(金) 秋月直丸、上杉家へ				
複製 上杉本 洛中洛外図屏風	六曲一双	各178.1×383.2	原本 室町～桃山(16世紀)	狩野永徳
国宝 上杉家文書				
1 『歴代年譜 治憲公』一	一冊	27.0×18.3	江戸時代 (18世紀)	
2 三好重道言上状	一通	17.7×170.5	(宝暦9年・1759)12月吉旦	
3 三好重道贖書	一冊	17.4×23.9	宝暦10年(1760)8月吉旦	

コレクショントーク

5/6(日)、5/26(土)、6/30(土)、7/28(土)、8/25(土)、9/29(土)、10/27(土)、11/24(土)、
1/5(土)、2/2(土)、3/2(土) いずれも14:00～

(2) 企画展示

①特別展「上杉鷹山の財政改革～国と民のしあわせ～」

会 期 ■平成24年4月14日(土)～6月3日(日)
 会 場 ■企画展示室(100%使用)常設展示室一体型
 開催日数 ■50日間
 主 催 ■米沢市上杉博物館

内 容

直江兼統ブームに沸いた中で、あらためて鷹山について知りたいとの声に応えて取り組むこととした。上杉鷹山の藩政改革を概括的に紹介した「上杉鷹山ー改革への道ー」を2004年(平成16年)に開催していることから、鷹山について数年ごとにテーマを設けて特別展を開催するのが望ましいと考えられた。東日本大震災後や日本経済の低迷という時代背景を鑑み、財政改革に焦点をあてて展開した。

その主旨は来館者に理解されたと見え、また、直前にNHKの「歴史秘話ヒストリア」という番組が、同じ方向性で番組を制作していたことから、来館者の後押しとなったようである。



入 館 料 一般600(480)円 高大生400(320)円 小中生250(200)円

入館者数 14,131人

展示資料 57点

関連事業 ■講演会「養育・養老の時代と鷹山」

5月19日(土)14:00～

講師:菊池慶子氏(東北学院大学教授)

■ギャラリートーク

「特別展、見どころ解説」4月14日(土)10:00～

担当学芸員

「上杉鷹山と現代に生かす儉約」4月21日(土)14:00～

遠藤 英氏(九里学園高等学校教諭)

「上杉鷹山、借金の返し方」4月28日(土)14:00～

原 淳一郎氏(山形県立米沢女子短期大学准教授)

「危機に立ち向かう鷹山」5月12日(土)14:00～

担当学芸員



印刷物

ポスター B2判
 チラシ A4判
 図録 A4判88頁

構 成

- プロローグ 米沢藩の困窮と上杉鷹山
- 第一章 危機への備えと対応
- 第二章 産業の創出と流通
- 第三章 豪農・商人の力～資金調達～
- 第四章 養育と養老の時代
- エピローグ 鷹山の晩年とその後

展示資料

No.	資料名	員数	時代	所蔵
プロローグ 米沢藩の困窮と上杉鷹山				
1	上杉鷹山坐像	1基	昭和時代(20世紀)	米沢市上杉博物館
2	上杉鷹山像	1幅	江戸時代(19世紀)	上杉神社
3	上杉鷹山書状(国宝「上杉家文書」・「なせばなる」)	1通	江戸時代(寛政元年・1789)	3月25日 米沢市上杉博物館
4	竹俣美作口上之覚案(「領知返上の案文」)	1通	江戸時代(宝暦13年・1763)	米沢市上杉博物館
5	勝色威二枚胴具足	1領	江戸時代(18世紀)	上杉神社
第一章 危機への備えと対応				
6	御代々御式目 十五	1冊	江戸時代(明和4年・1767)	9月18日 米沢市上杉博物館

No.	資料名	員数	時代	所蔵
7	上杉鷹山書状 (国宝「上杉家文書」)	1 通	江戸時代 (文化8年・1811)	3月18日 米沢市上杉博物館
8	寺町御蔵絵図	1 鋪	江戸時代 文化8年 (1811)	5月 米沢市上杉博物館
9	籠図	1 幅	江戸時代 天保15年 (1844)	高岡亮一
10	飯糧集	1 冊	江戸時代 (天明3年・1783)	市立米沢図書館
11	上杉鷹山書状	1 幅	江戸時代 (安永3年・1774)	7月9日 米沢市上杉博物館
12	谷地河原御手伝川除絵図	1 鋪	江戸時代 文化9年 (1812)	市立米沢図書館
13	東河原川除土手御手伝御絵図	1 鋪	江戸時代 寛政10年 (1798)	6月 米沢市上杉博物館
14	江戸城紅葉山御霊屋之図	1 鋪	江戸時代 (18世紀)	個人
15	興讓館之図	1 面	昭和時代 昭和5年 (1930)	米沢市上杉博物館
16	平家物語 (米沢市指定文化財)	12冊	室町時代後期 (16世紀)	市立米沢図書館
17	ふんしやう(文正草子)(米沢市指定文化財)	3 冊	江戸時代前期 (17世紀)	市立米沢図書館
第二章 産業の創出と流通				
18	松川河原之図	1 鋪	江戸時代 明和9年 (1772)	8月 市立米沢図書館
19	樹養篇	1 冊	江戸時代 (安永4年・1775)	6月 市立米沢図書館
20	国政談	2 冊	江戸時代 (天明2年・1782頃)	市立米沢図書館
21	松川舟運図屏風 (山形県指定文化財)	6 曲 1 双	江戸時代 (19世紀)	宮坂考古館
22	江戸城下絵図屏風	8 曲 1 隻	江戸時代 寛政7年 (1795)	宮坂考古館
23	石田名助記録	8 冊	江戸時代 (宝暦～天保年間)	市立米沢図書館
24	渡部伊右衛門像	1 幅		米沢市上杉博物館
第三章 豪農・商人の力～資金の調達～				
25	竹俣当綱書状	1 面	江戸時代 (安永6年・1777)	3月27日 米沢市上杉博物館
26	三谷三九郎書状	1 幅	江戸時代 (18世紀)	米沢市上杉博物館
27	御道具質入帳	1 冊	江戸時代 宝暦8年 (1758)	6月 米沢市上杉博物館
28	素懸紺糸威四枚胴具足	1 領	江戸時代 (18世紀)	重要文化財渡辺家保存会
29	遊具・弾弓 (上杉鷹山拝領)	一具	江戸時代 (18世紀)	重要文化財渡辺家保存会
30	大小拵 (鐔銘 横谷宗寿)	二口	江戸時代 (18世紀)	重要文化財渡辺家保存会
31	上杉鷹山書「織女機絲霜夜月」石鯨鱗甲動秋風」	双幅	江戸時代 (19世紀)	重要文化財渡辺家保存会
32	御領知高並御統道一円御元払帳	1 冊	江戸時代 (明和8年・1771)	市立米沢図書館
33	越後国持丸鑑	1 面	江戸時代 (19世紀)	個人
34	与板城下絵図	1 鋪	江戸時代 弘化2年・1845	個人
35	与板町屋敷帳地帳	1 冊	江戸時代 寛政元年・1789	長岡市与板歴史民俗資料館
36	「大坂屋」看板 (長岡市指定文化財)	1 面	江戸時代 (19世紀)	長岡市与板歴史民俗資料館
37	墨書木製品	1 枚	江戸時代 (19世紀)	長岡市教育委員会
38	甲陽軍鑑	20冊	江戸時代 万治2年・1659	長岡市立中央図書館
39	栗山家勤書	1 綴	江戸時代 天明5年・1785	米沢市上杉博物館
40	酒田風景図	1 枚	江戸時代 (文久年間・19世紀)	本間美術館
41	本間光丘像 (写真パネル)	1 枚	原本/江戸時代 (18世紀)	本間家旧本邸
42	荳戸善政像	1 幅	江戸時代 (19世紀)	米沢市上杉博物館
43	高埜瀨船図	1 枚	江戸時代 (文久年間・19世紀)	本間美術館
44	上杉鷹山書 「徳」	1 幅	江戸時代 (18世紀)	本間家旧本邸
45	荳戸善政書状	1 通	江戸時代 (寛政9年・1797)	8月5日 本間家旧本邸
46	荳戸善政酒田往復記録	1 巻	江戸時代 (寛政6年・1794)	本間美術館
第四章 養育と養老の時代				
47	看病不参命 全	1 冊	江戸時代 (安永年間・18世紀)	米沢市上杉博物館
48	御代々御式目 十八	1 冊	江戸時代 (安永9年・1780)	2月3日の条 米沢市上杉博物館
49	菅見談	2 冊	江戸時代 (寛政2年・1790)	市立米沢図書館
50	上杉治憲公年譜附録	5 冊	江戸時代 (文政10年・1827)	5月22日 個人
51	御代々御式目 廿二	1 冊	江戸時代 寛政4年 (1792)	11月28日の条 米沢市上杉博物館
52	春秋耕作図屏風	6 曲 1 双	江戸時代 (19世紀)	米沢市上杉博物館
53	老婆の手紙・老婆が送った足袋	1 通・1 足	江戸時代 (安永6年・1777)	12月6日 宮坂考古館
エピローグ 鷹山の晩年とその後				
54	広居図書忠通・中條豊前至資連署状	1 通	江戸時代 (享和3年・1804)	本間家旧本邸
55	荳戸善政書状	1 通	江戸時代 (享和元年・1801)	本間家旧本邸
56	金梨子地牡丹文高蒔絵鞍・鏡	1 具	江戸時代 (19世紀)	米沢市上杉博物館
57	上杉鷹山修身ポスター	1 枚	明治～昭和時代 (19世紀)	米沢市上杉博物館

※ (和暦・西暦) は推定年代

②企画展「日本の洋画始まる 日本近代洋画への道～山岡コレクションの名品～」

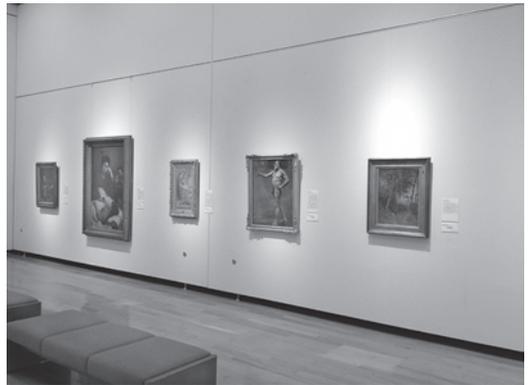
会 期 ■平成24年6月9日（土）～7月16日（月・祝）

会 場 ■企画展示室（100%使用）

開催日数 ■37日間（※6/27休館）

主 催 ■米沢市上杉博物館

協 力 ■公益財団法人 日動美術財団



内 容

江戸から明治への過渡期は、日本の歴史の上で政治的にも文化的にも大きな転換期であった。美術界でも洋画の流入という出来事により、まさに激動の時代の幕開けとなった。江戸時代末期になると、蘭学などを中心にヨーロッパの文化がもたらされ、写実的な挿絵、巧みな地図や図解など、その高い実用性が認められ、明治に入ると油彩画は本格的な歩み始める。本展覧会は、それまでの伝統的な絵画手法とは異なる西洋の技法や素材にいち早く注目し、少ない資料を頼りに、また後には直接渡欧して技術を修得し、日本の美術界に新たな局面を開こうとした先駆的画家たちの作品により、日本近代洋画誕生の時代を振り返った。出品作品は、初期洋画の優れたコレクション「山岡コレクション」(小型ディーゼルエンジンの生みの親、山岡孫吉氏(ヤンマー株式会社)の蒐集品)を中心に構成し、日本洋画の父といわれる高橋由一をはじめ、草創期の画家達約60名による名品を一堂に展示した。遠近法や陰影法など、それまでの日本美術には見られなかった技法を取り入れながら、試行錯誤を繰り返して日本の油彩画を確立していった先人たちの道のりを再発見して頂き、また『美術』という概念が誕生しつつあった当時を振り返ることで、現在の『美術』を再考するきっかけを提供した。

当館のアートコレクションの中から、今回は椿貞雄の作品を修復のお披露目かねて1点紹介した。



入 館 料 一般500 (400) 円 高大生400 (320) 円 小中生300 (260) 円

入館者数 3470人

展示資料 180点 ※6/27一部展示替

関連事業 ■ギャラリートーク 6月9日(土) 14:00～

□ワークショップ(教育普及事業頁で報告)

構 成

前期①洋風表現の試み

後期①近代洋画の父 高橋由一

②ワーグマンとビゴー 西洋人との邂逅ー

③初期の洋画教育ー画塾・工部美術学校・留学ー

④明治美術会と白馬会ー美術学校の時代へー

印刷物
ポスター B 2判
チラシ A 4判

展示資料

No.	作品名	作者	制作年	技法材質	サイズ	所蔵
1	支那風景／三十三間堂	円山応挙	—	木版・手彩色・紙	各21.0×27.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
2	風景	司馬江漢	—	彩色・絹	49.0×68.0	笠間日動美術館
3	七里ヶ浜	司馬江岷	—	泥絵具・絹	27.3×50.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
4	浅草観音図	亜欧堂田善	—	銅版	25.0×52.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
5	ライオン図	伝 小田野直武	—	墨・彩色・紙	90.0×33.1	笠間日動美術館(山岡コレクション)
6	洋人舞踏図	鋏形蕙斎	—	墨・紙	16.1×25.1	笠間日動美術館(山岡コレクション)
7	外国戦争図(ナポレオン戦争図)	安田雷洲	—	墨・彩色・紙	54.5×69.3	笠間日動美術館(山岡コレクション)
8	葉草会議図	長崎系洋風画/伝平賀源内	—	油彩・キャンバス	45.7×90.2	笠間日動美術館(山岡コレクション)
9	異人図	長崎系洋風画(作者不詳)	—	油彩・キャンバス	50.1×31.3	笠間日動美術館(山岡コレクション)
10	向島風景	泥絵(作者不詳)	—	泥絵具・厚紙	25.0×52.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
11*	丁髷姿の自画像	高橋由一	1866-67(慶応2-3)	油彩・キャンバス	48.0×38.8	笠間日動美術館(山岡コレクション)
12*	三偉人 リンカーン、ビスマルク、ガリバルディ	高橋由一	—	墨・淡彩・絹	36.3×28.6	笠間日動美術館(山岡コレクション)
13*	青年図	高橋由一	1874(明治7)	水彩・紙	19.0×18.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)

No.	作品名	作者	制作年	技法材質	サイズ	所蔵
14*	住吉神社	高橋由一	1874(明治7)	水彩・紙	28.0×20.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
15*	猫図	高橋由一	—	水彩・紙	21.5×25.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
16*	本牧海岸	高橋由一	1877(明治10)	油彩・キャンバス	51.7×63.9	笠間日動美術館(山岡コレクション)
17*	品川海晏寺紅葉図	高橋由一	1880(明治13)	油彩・キャンバス	45.7×69.9	笠間日動美術館(山岡コレクション)
18*	鮭図	高橋由一	1879-80(明治12-13)	油彩・板	85.9×24.6	笠間日動美術館(山岡コレクション)
19*	鯛図	高橋由一	—	油彩・板	54.6×75.9	笠間日動美術館
20*	藤田東湖肖像	高橋由一	—	墨画、淡彩・紙	30.8×25.0	笠間日動美術館
21*	武田耕雲齋像	高橋由一	—	墨画、淡彩・紙	28.0×17.4	笠間日動美術館
22	蔬菜図	伝 高橋由一	—	油彩・紙	48.0×69.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
23	川上操六中将図	エドワルド・キヨソーネ	1896(明治29)	木炭・紙	59.0×45.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
24	東禅寺浪士乱入図	チャールズ・ワグマン	—	水彩・紙	34.8×51.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
25	百合図	チャールズ・ワグマン	1878(明治11)	油彩・キャンバス	81.7×60.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
26	浦の風景	チャールズ・ワグマン	—	油彩・キャンバス	45.5×76.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
27	ワグマン夫人像	チャールズ・ワグマン	—	水彩・紙	44.9×30.9	笠間日動美術館(山岡コレクション)
28	信州風景	チャールズ・ワグマン	—	水彩・紙	25.8×35.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
29	万歳	ジョルジュ・ピゴー	—	油彩・キャンバス	30.2×19.3	笠間日動美術館(山岡コレクション)
30	池畔風景	徳川慶喜	—	油彩・キャンバス	17.6×33.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
31	ブルガリアの女	百武兼行	1882(明治15)	油彩・キャンバス	93.3×71.3	笠間日動美術館(山岡コレクション)
32	福山城	床次正精	—	油彩・キャンバス	55.1×94.6	笠間日動美術館(山岡コレクション)
33	雪の日	小林清親	—	硝子絵	30.0×40.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
34	英国風景(初春郊外)	国沢新九郎	—	油彩・キャンバス	49.9×60.4	笠間日動美術館(山岡コレクション)
35	日本橋界限	安達吟光	—	油彩・キャンバス	34.5×52.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
36	けしと小鳥	山本芳翠	—	油彩・キャンバス	40.6×55.6	笠間日動美術館(山岡コレクション)
37	菊図	山本芳翠	—	油彩・キャンバス	86.5×42.8	笠間日動美術館(山岡コレクション)
38	ベニス風景	川村清雄	—	油彩・板	91.2×45.3	笠間日動美術館(山岡コレクション)
39	塩原風景	五姓田義松	—	油彩・キャンバス	34.3×48.6	笠間日動美術館(山岡コレクション)
40	駿河湾風景	五姓田義松	—	油彩・キャンバス	42.6×72.8	笠間日動美術館(山岡コレクション)
41	人形の着物	五姓田義松	1883(明治16)	油彩・キャンバス	151.5×115.6	笠間日動美術館(山岡コレクション)
42	溪流	渡辺幽香	—	油彩・キャンバス	33.7×91.2	笠間日動美術館(山岡コレクション)
43	静物	彭城貞徳	—	油彩・キャンバス	73.5×150.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
44	函館港	高橋勝蔵	1901(明治34)	水彩・紙	32.5×48.8	笠間日動美術館(山岡コレクション)
45	晩婦(模写・エミール・アダン原画)	合田清	1886(明治19)	木口木版	19.6×30.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
46	富嶽図	二世 五姓田芳柳	—	油彩・キャンバス	45.2×91.6	笠間日動美術館(山岡コレクション)
47	住吉神社	山内愚僊	1902(明治35)	油彩・キャンバス	54.0×81.8	笠間日動美術館(山岡コレクション)
48	美人吹笛図	五姓田芳柳	—	彩色・絹	64.0×33.1	笠間日動美術館(山岡コレクション)
50	機密の晩餐	山下りん	—	油彩・キャンバス	27.3×48.7	笠間日動美術館
51	蓮池	ラゲーザ玉	—	油彩・キャンバス	30.5×91.0	笠間日動美術館
51	保津川の溪流	ラゲーザ玉	—	油彩・キャンバス	65.0×99.8	笠間日動美術館
52	婦人像	ラファエル・コラン	—	油彩・キャンバス	38.0×46.3	笠間日動美術館
53	外国婦人図(臨模)	浅井忠	1887(明治20)	木炭・紙	52.0×35.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
54	青梅風景	小山正太郎	1902(明治35)	油彩・キャンバス	56.9×41.8	笠間日動美術館(山岡コレクション)
55	上杉景勝一笑図	二世 五姓田芳柳	1890(明治23)	油彩・キャンバス	各56.0×41.2	笠間日動美術館(山岡コレクション)
56	男の裸体	中村不折	1902(明治35)頃	油彩・キャンバス	80.5×59.5	笠間日動美術館
57	習作	久米桂一郎	1889(明治22)頃	油彩・キャンバス	57.9×30.3	笠間日動美術館(山岡コレクション)
58	黒田清兼像	黒田清輝	1907(明治40)	油彩・キャンバス	81.1×65.4	笠間日動美術館(山岡コレクション)
59	浜の丘 稲村ヶ崎海岸の積藁	黒田清輝	1910(明治43)	油彩・板	18.0×13.9	笠間日動美術館
60	観桜会	藤島武二	—	油彩・板	32.1×41.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
61	ヴェニス風景	藤島武二	1908-1909(明治41-42)	油彩・板	23.6×32.8	笠間日動美術館
62	搜索	岡精一	1889(明治22)	油彩・キャンバス	87.0×49.4	笠間日動美術館(山岡コレクション)
63	緑陰	湯浅一郎	1900(明治33)	油彩・キャンバス	91.0×70.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
64	彫刻師	岡田三郎助	1890-91(明治23-24)	油彩・キャンバス	64.5×45.9	笠間日動美術館(山岡コレクション)
65	かりそめの悩み	満谷国四郎	1907(明治40)	油彩・キャンバス	133.7×88.5	笠間日動美術館(山岡コレクション)
66	快晴	和田英作	1897(明治30)	油彩・キャンバス	29.5×45.7	笠間日動美術館(山岡コレクション)
67	猿曳図	渡部審也	1898(明治31)	油彩・キャンバス	124.3×91.2	笠間日動美術館(山岡コレクション)
68	舞妓図	小林鐘吉	1909(明治42)	油彩・キャンバス	45.1×33.0	笠間日動美術館(山岡コレクション)
69	二人の少女	青木繁	1909(明治42)	油彩・キャンバス	60.5×45.5	笠間日動美術館
70	姉妹	橋本邦助	—	油彩・キャンバス	120.5×90.9	笠間日動美術館(山岡コレクション)
71	遠州浜名湖	小林萬吾	—	油彩・キャンバス	37.0×27.3	笠間日動美術館
	洋装せる菊子立像	椿貞雄	1922(大正11)	油彩・キャンバス	79.7×60.2	米沢市上杉博物館

「*」は展示期間6/28～

③企画展「安部朱美創作人形展 昭和の家族 きずな」

会 期 ■平成24年 7月28日（土）～9月30日（日）

会 場 ■企画展示室（100%使用）

開催日数 ■63日間

主 催 ■米沢市上杉博物館

協 力 ■東映株式会社



内 容

日本が貧しくも心豊かに過ごしていた時代、昭和。そこでは「家族」が深い絆を持ち、お互いを慈しみ優しく見守り、そして時には厳しく、また頼りながらも温かな時間を過ごしていた。そして「家族」の絆は、隣近所に、そして町へと広がり、さらに大きな絆を生み出し、とりまく四季・自然とともに人々はこころ豊かに暮らしていた時代でもあった。現在、日本はそんな「家族の絆」と「豊かなこころ」を失いつつある。本展ではそんな普遍的な日本人の絆と心を人形という形でメッセージ化し、映画を見るように展覧し世代を超えた多くの人々に伝えてゆく内容とした。

また、石粉粘土を素材として作り出される安部さんの作品は塑造としても非常に完成度が高く、昭和を伝える媒体としてではなく、創作人形としての芸術性の高さもじっくりご覧いただくことができた。

米沢の昭和を伝える手段として、小貫幸太郎氏撮影の画像から40点ほどを選び合わせて展示したことで、観覧者の追体験をより促すことができた。



入 館 料 一般400 (320) 円 高大生300 (240) 円 小中生200 (160) 円

入館者数 15,506人

展示資料 172点

関連事業 ■安部朱美氏ギャラリートーク／サイン会

7月28日（土）11：00～／14：00～

ワークショップ（教育普及事業頁で報告）

構 成

①家族の絆 ②地域の絆 ③友だちの絆

印刷物
ポスター B2判
チラシ A4判

展示資料

No.	作品名	制作年	人形数
1	かあちゃんよんで	2007年	5
2	井戸端で	2008年	1
3	或る夏の日	2008年	9
4	まりつき	2009年	5
5	馬とび	2009年	8
6	しょうぎ	2009年	3
7	ちゃぶ台囲んで	2009年	8
8	肩たたき	2009年	3
9	ねんねんころり	2009年	2
10	たそがれ	2009年	2
11	駄菓子屋	2009年	6
12	おつかい	2009年	2
13	しじみ売り	2009年	1
14	あたらしい家族誕生	2009年	8
15	アイスキャンデー屋	2009年	3
16	チャンバラ	2009年	6
17	ペーゴマ	2009年	3
18	泣いちゃった	2009年	2
19	カミナリおやじ	2009年	5
20	床屋は母ちゃん	2009年	3
21	子守り	2009年	2
22	負けるもんか	2010年	2
23	用務員さん	2010年	2
24	今日は何して遊ぼうか	2010年	2
25	天気を読むおじいちゃん	2010年	1

No.	作品名	制作年	人形数
26	新聞少年	2010年	1
27	泣く子	2010年	1
28	たき火	2010年	9
29	流し雛	2010年	10
30	どうしたの？	2010年	1
31	ひなたぼっこ	2010年	2
32	うるさいおばちゃん	2010年	1
33	悔しいかい	2010年	1
34	雨の日のおむかえ	2010年	1
35	おうまさん	2010年	3
36	鼻たれこぞう	2010年	1
37	母ちゃんのところまでもうちょっと	2010年	1
38	祈り	2010年	1
39	ほくも立派な働き手	2010年	1
40	田んぼでお乳	2010年	2
41	夕やけこやけで日が暮れて	2010年	4
42	ちょっと一服	2010年	1
43	本が大好き	2010年	2
44	寝ちゃったよ	2010年	1
45	魚屋さん	2010年	2
46	とんどさん	2011年	13
47	いろいろ端	2011年	6
48	夜なべ	2011年	2
49	ゆかた	2011年	1
50	地藏祭	2011年	10

合計172点

④企画展「美の系譜 ―国画会にみる山形ゆかりの美術―」

会 期 ■平成24年10月6日（土）～11月25日（日）

会 場 ■企画展示室（100%使用）

開催日数 ■50日間

主 催 ■米沢市上杉博物館

後 援 ■国画会



内 容

国画会は1918年に国画創作協会として小野竹喬、土田麦僊、村上華岳らが創設、1925年に梅原龍三郎らを迎え入れ、第二部に洋画部を創設し「国画会」と改称して今に至る。画壇においては官展に対する在野の美術団体として二科会、春陽会と並び大きな存在感を放ってきた。また、椿貞雄、土田文雄、桜井祐一、鈴木実など当地米沢・山形ゆかりの作家も多数国画会に出品し、一つの系譜を作り出している。本展覧会では、国画会というフィルターを通して近現代の郷土の美術、中央美術界とのつながりを一望し、師弟関係などの縦のつながり、交流や影響関係などの横のつながりを通して、米沢と山形の美術の過去と現在を紹介した。コレクションの活用のほか、借用により幅広いラインナップの作品を展示することができた。また、山形国画会（絵画部）の協力により、現役作家の作品展示も充実し、出品者のギャラリートークや講演会などの関連事業も開催した。

入 館 料 一般400（320）円 高大生300（240）円 小中生200（160）円

入館者数 4469人

展示資料 45点 ※途中一部展示替

関連事業 ■山国画会絵画部によるギャラリートーク 10月6日（土）14：00～

■講演会「北の大地が育んだ芸術～国展と山形ゆかりの作家達～」

11月4日（日）14：00～

講師：遠藤賢太郎氏（山形大学名誉教授・国画会会員）

□募集制ワークショップ（教育普及事業頁で報告）



印刷物

ポスター B 2判
チラシ A 4判

構 成

1. 草創期の国画会と山形ゆかりの作家達
2. S. A. Sの国画会合流と山形ゆかりの彫刻家達
3. 国画会をめぐる人間関係
4. 国画会のいま

展示資料

No.	作品名	作者	制作年	技法材質	サイズ	出品	所蔵
1	海岸の丘	土田文雄	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	50.0×65.0	第4回国画会展(樗牛賞)	米沢市上杉博物館
2	濱	土田文雄	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	91.5×61.5	第15回国画会展	米沢市上杉博物館
3	海岸の小屋	土田文雄	1950年代	油彩・キャンバス	50.0×61.0		米沢市上杉博物館
4	睡蓮図	椿貞雄	1944-46(昭和19-21)	油彩・キャンバス	60.6×80.3	第20回国画会展	米沢市上杉博物館
5	壺（白磁大壺に椿）	椿貞雄	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	72.7×60.6	第21回国画会展	米沢市上杉博物館
6	彩子立像	椿貞雄	1954(昭和29)	油彩・板	100.0×83.0	第28回国画会展	米沢市上杉博物館
7	カフェー小景	為本自治雄	1929(昭和4)	油彩・板	31.5×40.0	第4回国画会展	山形美術館
8	磯の幻想	高瀬捷三	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	50.0×60.6	第52回国画会展	山形美術館
9	闘い	渋谷円吉	1967(昭和42)	油彩・板	181.6×121.0		山形美術館寄託
10	正樹の顔	桜井祐一	1961(昭和36)	ブロンズ	28.0×28.0×27.0	第一回S A S展	米沢市上杉博物館
11	少女	新海竹蔵	1966(昭和41)	ブロンズ	137.0×45.5×35.0	第40回国画会展(原型)	山形美術館
12	或る朝、そしてバラの影、そして交信	鈴木実	1969(昭和44)	ラワン・ペイント ミクストメディア	95.0×170.0×211.8	第43回国画会展	米沢市上杉博物館
13	裸婦	阿部誠	1966(昭和41)	石膏	109.5×51.0×48.0	第40回国画会展	米沢市上杉博物館

No.	作品名	作者	制作年	技法材質	サイズ	出品	所蔵
14	エチュード	茨木敏夫	1977(昭和52)	石膏	29.5×39.0×75.0	第51回国画会展	個人蔵
15	緑の風	染谷英五	1983(昭和58)	ポリエステル	178.0×70.0×50.0	第57回国画会展	山形大学付属博物館
16	薔薇図	梅原龍三郎	1940(昭和15)	油彩、岩絵具・紙	65.4×39.5	第15回国画会展	東京国立近代美術館
17	姑娘とチューリップ	梅原龍三郎	1942(昭和17)	油彩、岩絵具・紙	73.1×40.1	第17回国画会展	東京国立近代美術館
18	雨の前	土田文雄	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	61.0×73.0	第9回国画会展	米沢市上杉博物館
19	座像	土田文雄	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	第11回国画会展	山形美術館
20	高原	土田次枝	1967(昭和42)か	油彩・キャンバス	100.3×80.5	第41回国画会展か	米沢市上杉博物館
21	紺地型絵染二曲屏風 四季	芹沢銈介	1960(昭和30)	絹・型染	157.0×175.0		東京国立近代美術館工芸館
22	紵地型絵染のれん 滝	芹沢銈介	1962(昭和37)	絹・型染	135.0×115.0		東京国立近代美術館工芸館
23	紵地型絵染二曲屏風 晴雨	芹沢銈介	1962(昭和37)	絹・型染	52.0×174.0		東京国立近代美術館工芸館
24	木綿地六行いろは文二曲屏風	芹沢銈介	1973(昭和48)	綿・型染	168.0×182.0		東京国立近代美術館工芸館
25	二曲屏風 海の詩	椿夏子	昭和30~40年代頃	型染	174.0×149.0		米沢市上杉博物館
26	染布(流れ椿)	椿夏子	昭和40年代頃	型染	178.0×87.0		米沢市上杉博物館
27	四曲屏風 愛別離苦	椿夏子	制作年未詳	型染	145.0×189.0		米沢市上杉博物館
28	K. Sの首	新海竹蔵	1968(昭和43)	プラスチック	42.0×22.5×27.0	第42回国画会展	山形美術館
29	ナイティの女	桜井祐一	1979(昭和54)	ブロンズ	182×58×40	第53回国画会展	米沢市上杉博物館
30	記念撮影-石のある風景-	峯田敏郎	1999(平成11)	樟、杉	W350	第73回国画会展	山形美術館
31	私の曼荼羅 a	須田剋太	1964(昭和39)	油彩、石・キャンバス	162.6×130.5	第40回国画会展	埼玉県立近代美術館
32	作品1972黒	須田剋太	1972(昭和47)	油彩・キャンバス	193.8×112.5	第46回国画会展	埼玉県立近代美術館
33	流れ そのII	遠藤賢太郎	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	227.3×181.8	第48回国画会展(国画賞)	米沢市上杉博物館寄託
34	光の中へ '81	遠藤賢太郎	1981(昭和56)	油彩・キャンバス	200.0×164	第55回国画会展	米沢市上杉博物館
35	砂の風景 '98	遠藤賢太郎	1998(平成10)	アクリル、油彩・キャンバス	193.8×162	第72回国画会展	米沢市上杉博物館
36	樹水	遠藤賢太郎	2007(平成19)	アクリル、油彩・キャンバス	162.0×194.0	第81回国画会展	米沢市上杉博物館
37	讚華紅花	原秀造	2011(平成23)	アクリル・キャンバス	162.0×194.0	第85回国画会展	個人蔵
38	時の記憶	遠藤正俊	2012(平成24)	パネルに綿布、 アクリル、金箔、顔料	162.0×120.0		個人蔵
39	Virtual Moratorium 2	推名久夫	2003(平成15)	アクリル・板	160.0×130.0	第77回国画会展(国画賞)	個人蔵
40	警鐘 L-2012	樋渡理志	2012(平成24)	油彩・キャンバス	194.0×162.0	第86回国画会展	個人蔵
41	W I N D O W	本木京一	2012(平成24)	アクリル・キャンバス	204.0×174.0	第86回国画会展	個人蔵
42	約束 (R)	石塚信雄	2012(平成24)	発泡スチロール 酢酸ビニル系接着剤 顔料、油彩	197.0×165.0	第86回国画会展(新人賞)	個人蔵
43	春の嵐	清水恵子	2012(平成24)	紙・ジェツソ・アクリル・紙	194.0×162.0	第86回国画会展	個人蔵
44	黄色い雪	遠藤一成	2012(平成24)	油彩・板	97.0×162.0	第86回国画会展	個人蔵
45	E X - 女 -	菅原夏未	2012(平成24)	キャンバス・油彩	162.0×194.0	第86回国画会展	個人蔵

※ No21・22 展示期間10/6~10/23 No23・24 展示期間 10/25~11/25

⑤企画展「米沢藩絵図の世界」

会 期 ■平成24年12月8日（土）～平成25年2月17日（日）
 前期 12月8日（土）～1月14日（月祝）
 後期 1月17日（木）～2月17日（日）※1月16日（水）
 は展示替

会 場 ■企画展示室（100%使用）

開催日数 ■57日間

主 催 ■米沢市上杉博物館



内 容

米沢市上杉博物館で所蔵する「上杉文書」に収められた、米沢藩で制作もしくは収集したと考えられる絵図を、その制作の中心的役割を担った米沢藩絵図方岩瀬家の資料（「岩瀬家所蔵資料」・市立米沢図書館蔵）などをはじめとする資料と有機的に関連付けて、その歴史的背景を明らかにしながら、展示・紹介した。

米沢藩領を対象とした領国絵図、城下町米沢の城下絵図、他領との境界争いの裁判や国境の確定に関わって作成された絵図、江戸後期の海防問題に伴って作られた絵図、幕末から明治にかけての混乱期に制作された絵図など、当時の社会的情勢と米沢藩の活動との関わりについて積極的にその意義を捉えることに努めた。

入 館 料

入館者数 4,004名

展示資料 前期36点、後期34点

関連事業 ■ギャラリートーク 12月8日（土）・1月17日（土）14:00～15:00

構 成

<前期>

- ①お国のすがた ②全て見せます ③どっちなんだ？
 ④己を知る～外国船現る ⑤直していいですか？ ⑥絵図をめぐる現場から

<後期>

- ①町の復興と ②日本を統べる ③つながりますか？
 ④緊迫化する情勢に ⑤未知の世界で ⑥絵図の現場から



印刷物
 ポスター B2判
 チラシ A4判

出品リスト絵図

資料名	制作年など	法量	所蔵
<前期目録>			
①お国のすがた			
1 米沢福島ニテ三拾万石之御絵図	元禄15年（1702）	163.0×246.0	米沢市上杉博物館
2 御国絵図	文化10年（1813）	117.0×120.0	米沢市上杉博物館
②全て見せます			
3 歴代年譜 宗憲公 卷3（国宝「上杉家文書」）	享保10年（1725） 2月25日条	28.3×19.9	米沢市上杉博物館
4 享保十年御尋之御答書	享保10年（1725） 9月	23.2×15.3	米沢市上杉博物館
5 御絵図御差図帳	享保10年（1725） 9月16日	19.7×15.6	米沢市上杉博物館
6 御城絵図副目録御控	享保10年（1725） 8月16日	19.4×15.2	米沢市上杉博物館
7 米沢御城下町并間数屋舗数書上申帳	享保10年（1725） 7月17日	38.6×15.1	米沢市上杉博物館
8 米沢町方町数并間数屋舗書上申帳	享保10年（1725） 7月	38.8×15.1	米沢市上杉博物館
9 御城下絵図	享保10年（1725）	205.0×278.0	米沢市上杉博物館
10 御城下絵図	享保10年（1725）	206.0×280.0	米沢市上杉博物館

資料名	制作年など	法量	所蔵
③どっちなんだ？			
11 伊達信夫地方絵図	江戸時代	168.0×209.0	米沢市上杉博物館
12 歴代年譜 定勝公 巻8(国宝「上杉家文書」)	寛永8年(1631)4月7日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
13 歴代年譜 定勝公 巻20(国宝「上杉家文書」)	正保2年(1645)2月14日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
14 歴代年譜 綱勝公 巻2(国宝「上杉家文書」)	正保3年(1646)12月12日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
15 歴代年譜 綱勝公 巻5(国宝「上杉家文書」)	慶安4年(1651)2月6日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
16 相馬長門守領内玉野村因幡・七右衛門連署目安写 上杉喜平次土佐・藤右衛門・太左衛門連署答書写	承応2年(1653)5月 承応2年(1653)6月18日	31.5×407.5	米沢市上杉博物館
17 歴代年譜 綱勝公 巻6(国宝「上杉家文書」)	承応2年(1653)閏6月18日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
18 相馬領之図(写)	明治14年(1881)カ・原本承応3年(1654)5月12日	144.0×117.8	市立米沢図書館
④己を知る～外国船現る			
19 御預所 越後岩船郡海岸絵図	嘉永4年(1851)カ	411.0×71.0	米沢市上杉博物館
20 御預所 越後岩船郡粟島絵図	嘉永4年(1851)カ	115.0×77.0	米沢市上杉博物館
21 蝦夷松前役越後岩船郡役予備	文化5年(1808)2月	27.8×19.0	米沢市上杉博物館
22 歴代年譜 治広公 巻16(国宝「上杉家文書」)	寛政9年(1797)9月16日条	27.0×18.5	米沢市上杉博物館
23 海浜警備ニ付家中節約ノ達覚書	寛政9年(1797)11月	14.5×118.0	米沢市上杉博物館
24 歴代年譜 齊憲公 巻10(国宝「上杉家文書」)	嘉永元年(1848)5月5日条	26.5×18.2	米沢市上杉博物館
25 嘉永元異船警備記	嘉永元年(1848)5月	28.3×18.5	米沢市上杉博物館
26 越後国岩船郡海岸絵図諸事留帳	嘉永2年(1849)10月	19.1×15.7	米沢市上杉博物館
⑤直していいですか？			
27 歴代年譜 齊憲公 巻13(国宝「上杉家文書」)	嘉永3年(1850)5月21日条	26.5×18.2	米沢市上杉博物館
28 出羽国米沢城絵図写	嘉永3年(1850)5月	79.0×89.0	米沢市上杉博物館
29 嘉永三年御堂新建図(国宝「上杉家文書」)	嘉永3年(1850)	62.2×62.0	米沢市上杉博物館
30 米沢城御堀浚絵図	正徳元年(1711)7月	95.0×64.0	米沢市上杉博物館
31 米沢城御堀浚之御絵図入日記	享保5年(1720)3月13日	15.5×44.0	米沢市上杉博物館
32 出羽国米沢城絵図写(裏書)	文政元年(1818)7月	80.0×89.0	米沢市上杉博物館
⑥絵図をめぐる現場から			
33 御絵図由来書	嘉永5年(1852)7月	16.3×21.0	市立米沢図書館
34 御絵図入日記帳	文政5年(1822)10月	15.6×38.2	市立米沢図書館
35 御絵図土用干日割帳	文政8年(1825)6月	16.7×24.0	市立米沢図書館
36 御絵図目録	慶応元年(1865)5月	9.6×18.5	市立米沢図書館
<後期目録>			
①町の復興と			
1 御城下絵図	文化8年(1811)	212.0×134.0	米沢市上杉博物館
諸奉公人屋鋪絵図 花沢・山上	文化8年(1811)	149.0×72.1	米沢市上杉博物館
諸奉公人屋鋪絵図 館山通	文化8年(1811)	87.3×107.0	米沢市上杉博物館
2 歴代年譜 治広公 巻30(国宝「上杉家文書」)	文化8年(1811)3月22日条	27.0×185	米沢市上杉博物館
②日本を統べる			
3 歴代年譜 綱憲公 巻20(国宝「上杉家文書」)	元禄10年(1697)閏2月4日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
4 歴代年譜 綱憲公 巻21(国宝「上杉家文書」)	元禄11年(1698)7月28日	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
5 板谷李平境山見分絵図	元禄10年(1697)6月	54.0×40.0	市立米沢図書館
6 福島領米沢領境論判決絵図(裁許裏書絵図)	元禄11年(1698)12月22日	177.0×253.0	米沢市上杉博物館
7 岩瀬政秀覚書	(元禄11年・1698)12月29日	16.4×203.9	市立米沢図書館
8 覚書	(元禄12年〔1699〕カ)	16.0×112.9	市立米沢図書館
9 出羽国米沢領分郷帳	元禄13年(1700)3月4日(元禄15年)	29.6×21.0	米沢市上杉博物館
10 米沢領内村高付絵図	元禄12年(1699)5月	295.0×271.0	米沢市上杉博物館

資料名	制作年など	法量	所蔵
11 米沢領村高大絵図	元禄13年（1700） 3月4日	258.0×291.0	米沢市上杉博物館
③つながりますか？			
12 福島江相渡際絵図御控	元禄12年（1699） 10月28日	111.0×68.0	米沢市上杉博物館
13 福島ヨリ相渡サレシ際絵図控	元禄12年（1699） 12月	126.0×73.0	米沢市上杉博物館
14 米沢領端絵図、但福島境通会形控	元禄12年（1699）	50.0×108.0	米沢市上杉博物館
15 米沢領端絵図、但福島境通会形	元禄12年（1699）	153.0×81.0	米沢市上杉博物館
16 縁絵図につき齊藤彦太夫・遠藤伝丞連名伺書	（元禄12年・1699カ） 8月26日	16.2×71.5	市立米沢図書館
17 歴代年譜 綱憲公 卷22(国宝「上杉家文書」)	元禄14年（1701） 10月5日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
18 歴代年譜 綱憲公 卷23(国宝「上杉家文書」)	元禄15年（1702） 7月20日条	28.4×19.8	米沢市上杉博物館
19 歴代年譜 吉憲公 卷15(国宝「上杉家文書」)	享保3年(1718)閏10月11日条	28.4×19.7	米沢市上杉博物館
20 朝日嶽絵図	享保4年（1719）	120.0×57.0	米沢市上杉博物館
④緊迫化する情勢に			
21 自米沢中山至三厩道中記	文化5年（1808）	15.6×9.7	市立米沢図書館
22 南部津軽浜通絵図	文化5年（1808）	212.0×211.0	市立米沢図書館
23 松前絵図并米沢ヨリ松前マテ道中記被 仰付万事留帳	文化5年（1808）	15.2×19.2	市立米沢図書館
24 蝦夷地御堅捨人別帳	文化5年（1808） 閏6月	32.5×12.6	米沢市上杉博物館
25 蝦夷絵図	年月日未詳	77.5×115.5	米沢市上杉博物館
⑤未知の世界で			
26 駿府一御加番図	年月日未詳	94.8×55.4	米沢市上杉博物館
27 駿州有渡郡府中御城絵図	安永7年（1778）	66.0×59.0	米沢市上杉博物館
28 京都屋舗絵図	慶応3年（1867） 7月	48.0×67.8	市立米沢図書館
29 若松城画図并家中附	慶応4年（1868） 3月	58.6×60.2	米沢市上杉博物館
30 若松城絵図	慶応4年（1868） 3月	41.8×31.0	米沢市上杉博物館
⑥絵図の現場から			
31 御絵図由来書	嘉永5年（1852） 7月	16.3×21.0	市立米沢図書館
32 御絵図入日記帳	文政5年（1822） 10月	15.6×38.2	市立米沢図書館
33 御絵図土用干日割帳	文政8年（1825） 6月	16.7×24.0	市立米沢図書館
34 御絵図目録	慶応元年（1865） 5月	9.6×18.5	市立米沢図書館

⑥コレクション展「上杉家文書国宝への道 —修復と紙の世界—」

会 期 ■平成25年 2月23日（土）～3月31日（日）

会 場 ■企画展示室（100%使用）

開催日数 ■31日間

主 催 ■米沢市上杉博物館

協 力 ■東京大学史料編纂所
九州国立博物館



内 容

平成元年に上杉家16代当主故上杉隆憲氏から米沢市に寄贈され米沢市立上杉博物館の所蔵となった上杉家文書は、日本の武家文書の機能、様式や形態、紙質等を研究する上で多くの貴重な情報を提供し、武家文書研究の最高峰としての価値を有するものとして、平成13年6月22日、武家文書としては初めて国宝となった。その特徴を反映した修復は古文書群修復の転換ともなった。上杉家文書の価値と魅力をあらためて知っていただく機会とし、平成23年度に行った東京大学史料編纂所との共同研究「古文書料紙の物理的手法による調査研究—上杉家文書による戦国期料紙の再検討—」による、最先端の研究成果も公開した。

古文書を読むという視点ではなく、修復、収納、国宝上杉家文書ゆえにできる研究などの角度から、国宝上杉家文書の全容を紹介した展覧会とした。

入 館 料 一般200（160）円 高大生100（80）円 小中生50（40）円

入館者数 3,012人

展示資料 61点

関連事業 ■講演会「上杉家文書の修復」

3月2日（土）14：00～

講師：鈴木 裕氏（国宝修理装漉師連盟技師長）

■担当学芸員によるギャラリートーク いずれも14：00～

「国宝上杉家文書の魅力」 2月23日（土）

「上杉家文書国宝への道」 3月9日（土）

「国宝上杉家文書—紙の世界—」 3月16日（土）

「料紙研究の今」 3月23日（土）



印刷物
ポスター B 2判
チラシ A 4判
図録 A 4判84頁

構 成

- プロローグ 国宝上杉家文書とは
- 第一章 国宝上杉家文書のすべて
- 第二章 国宝上杉家文書の魅力
- 第三章 上杉家文書の整理
- 第四章 古文書料紙の物理的手法による調査研究
—上杉家文書による戦国期料紙の再検討—
- エピローグ 国宝上杉家文書を理解するために

展示資料

No.	資料名	員数	時代	収納場所	文書番号
プロローグ 国宝上杉家文書とは					
1	上杉清子消息	1 卷	南北朝時代(建武5年・1338)	5月27日	赤筆筒(乾)六之段ヌ印 921
2	足利尊氏書状	1 通	南北朝時代(年未詳)	12月12日	赤筆筒(乾)五之段ひ印 678
3	上杉光徹(憲政)書状	1 通	室町時代(年未詳)	3月18日	赤筆筒(乾)五之段ト印 858
第一章 上杉家文書のすべて					
4	両掛入文書旧保存箱(本体・鞘箱)	1 合	江戸時代	明和9年(1772)9月	
	両掛入文書新保存箱(内箱・外箱)	1 合	平成時代	平成8年(2006)	
5	精撰古案両掛入文書旧保存箱(本体・鞘箱)	1 合	江戸時代	明和9年(1772)9月	
	精撰古案両掛入文書新保存箱(内箱・外箱)	1 合	平成時代	平成8年(2006)	

No.	資料名	員数	時代	収納場所	文書番号
6	赤筆筒(乾)入文書旧保存箱(本体・鞘箱)	1 棹	江戸時代 (18世紀)		
	赤筆筒(乾)入文書新保存箱(一~三之段・四~六之段)	1 棹	平成時代 平成 8 年 (2006)		
7	赤筆筒(坤)入文書旧保存箱(本体・新保存箱)	1 棹	江戸時代(18世紀)・平成 8 年(2006)		
	赤筆筒 (坤) 入文書新保存箱	1 棹	平成時代 平成 8 年 (2006)		
8	黒漆塗掛硯箱入文書旧保存箱(本体・新保存箱)	1 合	江戸時代(17世紀)・平成 8 年(2006)		
	黒漆塗掛硯箱入文書新保存箱(内箱・外箱)	1 合	平成時代 平成 8 年 (2006)		
9	歴代知行判物並領知目録新保存箱	1 棹19通	江戸時代・平成 8 年 (2006)		
10	歴代官物文書類旧保存箱(本体・新保存箱)	11合199通	江戸時代・平成 8 年 (2006)		
11	上杉家系図新保存箱	1棹4帖10冊	江戸時代・平成 8 年 (2006)		
12	歴代年譜旧保存箱 (本体・新保存箱)	14合	江戸時代・平成 8 年 (2006)		

第二章 国宝上杉家文書の魅力

13	大内義隆書状 (切封)	1 通	室町時代 (16世紀) 11月 5 日	赤筆筒(乾)一之段ろ印	45
14	北条氏康書状 (糊付の封)	1 通	室町時代(元亀元年・1570) 5月12日	赤筆筒(乾)五之段ロ印	771
15	上杉治憲朱筆注意書 (結封)	1 通	江戸時代 (18世紀)	赤筆筒(坤)第一抽斗	1059
16	大内義隆書状 (折紙)	1 通	室町時代 (16世紀) 11月 5 日	赤筆筒(乾)一之段ろ印	45
17	石田三成・増田長盛連署副状 (折封)	1 通	室町時代(天正14年・1586) 9月25日	赤筆筒(乾)五之段ト印	862
18	上杉治憲書状 (糊封)	1 通	江戸時代 (18世紀) 3月18日	赤筆筒(坤)第一抽斗	988
19	足利義晴御内書 (裏紙)	1 通	室町時代(享祿3年・1530) 9月28日	赤筆筒(乾)一之段に印	113
20	豊臣秀吉直書 (折紙)	1 通	室町時代(天正14年・1586) 6月23日	赤筆筒(乾)三之段な印	353
21	豊臣秀吉朱印状 (折紙)	1 通	室町時代(天正18年・1590) 7月 6 日	赤筆筒(乾)三之段ね印	337
22	足利義晴御内書	1 通	室町時代(享祿元年・1528)12月12日	赤筆筒(乾)一之段に印	116
23	豊臣秀吉朱印状	1 通	室町時代(年未詳)極月28日	赤筆筒(乾)三之段ね印	335
24	後陽成天皇口宣案	1 通	室町時代(文禄3年・1594)10月28日	歴代官物文書類	景勝編 865
25	後奈良天皇綸旨	1 通	室町時代(天文9年・1540) 9月27日	赤筆筒(乾)五之段無印	865
26	後奈良天皇女房奉書	1 通	室町時代(天文9年・1540) 9月27日	精撰古案第三抽斗	1720
27	右京大夫局消息	1 通	室町時代(天文9年・1540) 9月27日カ	精撰古案第三抽斗	1724
28	広橋兼秀書状	1 通	室町時代(天文9年・1540) 9月27日	精撰古案第三抽斗	1729
29	高橋宗頼書状	1 通	室町時代(天文9年・1540) 9月27日	精撰古案第三抽斗	1728
30	徳川家康書状	1 通	室町時代(文禄3年カ・1594) 4月 2 日	精撰古案第一抽斗	1642
31	徳川家康書状	1 通	室町時代(慶長4年・1599) 9月14日	精撰古案第一抽斗	1643
32	徳川家康書状	1 通	江戸時代(17世紀) 5月11日	赤筆筒(乾)三之段む印	374
33	古案改帳	2 冊	江戸時代(寛文11年(1671)11月13日)延宝8年(1680) 7月	赤筆筒(乾)六之段ヨ印	944・945

第三章 上杉家文書の修理

34	足利義輝御内書	1 通	室町時代(永祿2年・1559) 6月29日	精撰古案第二抽斗	1668
35	近衛前嗣書状	1 卷	室町時代(永祿4年・1561) 6月10日	精撰古案第二抽斗	1719
36	足利義教御内書	1 卷7 通	室町時代 (15世紀)	赤筆筒(乾)二之段り印	199~205
37	直江重光自筆題詩扇面	2 握	江戸時代 (17世紀)	赤筆筒(乾)三之段の印	437-①⑤
38	豊臣秀吉朱印状	1 通	室町時代(天正19年・1591) 9月 7 日	赤筆筒(乾)三之段ね印	338
39	徳川家康書状	1 通	室町時代 (16世紀) 11月 2 日	赤筆筒(乾)四之段ま印	485
40	上条宜順書状	1 通	室町時代(天正10年(1582) 2月頃カ)	赤筆筒(乾)三之段の印	398
41	上杉定勝古案集	1 冊	江戸時代 (17世紀)	黒塗掛硯箱一之段	黒塗掛硯

第四章 古文書料紙の物理的手法による調査研究—上杉家文書による戦国期料紙の再検討—

42	北条氏康書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 6月10日	赤筆筒(乾)五之段ロ印	774
43	北条氏政書状	1 通	室町時代 (16世紀) 12月 4 日	赤筆筒(乾)五之段ロ印	776
44	武田晴信書状	1 通	室町時代(弘治2年・1556) 3月11日	赤筆筒(乾)四之段志印	640
45	北条氏康書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569)11月13日	赤筆筒(乾)五之段ロ印	767
46	北条氏康書状	1 通	室町時代(永祿13年・1570) 4月19日	赤筆筒(乾)五之段ロ印	770
47	北条氏綱書状	1 通	室町時代(大永4年・1524)11月23日	赤筆筒(乾)一之段は印	78
48	北条氏綱書状	1 通	室町時代(大永4年・1524) 4月20日	赤筆筒(乾)一之段は印	81
49	北条氏康書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 2月 6 日	赤筆筒(乾)四之段ま印	487
50	北条氏康書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 6月16日	赤筆筒(乾)五之段ロ印	769
51	北条氏政書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569)11月28日	赤筆筒(乾)四之段江印	504
52	北条氏政書状	1 通	室町時代(永祿10年・1567) 8月25日	赤筆筒(乾)六之段レ印	952
53	北条氏政書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 2月 6 日	赤筆筒(乾)四之段江印	505
54	北条氏照書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 6月 9 日	赤筆筒(乾)五之段二印	818
55	北条氏康氏政連署条書	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 4月24日	精撰古案第四抽斗	1744
56	北条氏邦書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 9月10日	赤筆筒(乾)四之段さ印	555
57	北条氏邦書状	1 通	室町時代(元亀元年・1570) 8月13日	赤筆筒(乾)四之段さ印	556
58	遠山康光書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569)11月14日	赤筆筒(乾)四之段さ印	549
59	遠山康光書状	1 通	室町時代(永祿13年・1570) 1月15日	赤筆筒(乾)四之段さ印	551
60	遠山康英書状	1 通	室町時代(永祿13年・1570) 4月16日	赤筆筒(乾)四之段さ印	560
61	遠山康英書状	1 通	室町時代(永祿12年・1569) 2月 2 日	赤筆筒(乾)四之段さ印	570

エピソード 国宝上杉家文書を理解するために

※ (和暦・西暦) は推定年代

2 教育普及

目 的

地域の住民（子どもたちも含めた）が地域の自然や文化を正しく理解し、それを継承していくための契機となる。歴史や美術をとおして、子どもたちが広い視野で将来を見据えられるような展示や体験学習の提供と出版物の制作を行う。これらの活動を積み重ねていくことにより、館の社会的認知度を高めていき、その結果として、住民が博物館（地域のシンボル）をつくっていく一員であるという認識を持つことができ、共に成長していく。

（1）ワークショップ

子どもにも大人にも、目でみるだけではなく、五感を用いた体験を伴う活動の場を提供した。企画展の関連事業や連続ワークショップも含め、22のプログラムを実施。博物館ならではの収蔵品を用いた美術鑑賞、手技・手仕事、地域の作家を講師に迎えての造形講座などを開催した。昨年引き続き開催した「夏休みものづくりルーム」の造形シリーズは好評を博した。

募集制ワークショップ

■潜入！誰も知らない博物館

開催日時 5月12日（土）13：30～
対象・定員 どなたでも 20人
参加人数 9名
内 容 博物館の裏側をめぐるながらクイズに答え、最終目的地である収蔵庫を目指す。



■親子でいつでも晴れの傘をつくろう！

開催日時 6月16日（土）13：30～
対象・定員 小学生親子 20人
参加人数 9名
内 容 透明ビニール傘にシール素材を用いてデコレーションし、オリジナルの傘を制作。

■ようこそ夜の博物館へ たのしむ美術『日本の洋画始まる 日本近代洋画への道』

開催日時 6月28日（木）19：00～
対象・定員 小学生親子 20人
参加人数 9名
内 容 夜の博物館で企画展をじっくり鑑賞。
鑑賞補助教材「アートキューブ」を福島県立美術館より借用。



■型絵染入門～用の美をつくる

開催日時 7月1日（日）10：00～
講 師 土手竹彦氏・土手千鶴子氏
対象・定員 高校生以上 20人
参加人数 19名
内 容 毎年継続している型絵染の体験。カトレアのタペストリーとコースターを制作。

■透明な世界～ガラスアートを知る～

開催日時 7月8日（日）13：30～
講 師 つかもとあきこ氏
対象・定員 中学生以上 20人
参加人数 18名
内 容 とんぼ玉を用いてオリジナルのストラップづくり。
専用の道具を使ってワイヤーワークにも挑戦。



■夏休みものづくりルーム 水彩画入門

開催日時 7月14日（土）9：30～
講 師 田中寛司氏・清水恵子氏
対象・定員 小中学生 20人
参加人数 6名
内 容 水彩絵の具の基本を学びながら、その特徴を生かして果物を描く。

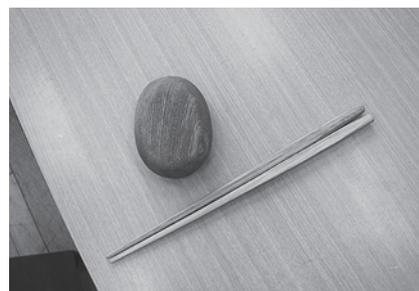
■夏休みものづくりルーム 刺子入門

開催日時 8月4日(土) 10:00～
講師 遠藤きよ子氏(刺し子工房創匠庵)
対象・定員 小学生～大人 20人
参加人数 20名
内容 布の持つ力、刺子の役割のお話を聞き、伝統的な文様をランチョンマットへ刺子した。



■夏休みものづくりルーム 人形をつくろう

開催日時 8月4日(土) 13:30～
対象・定員 小学生 20人
参加人数 12名
内容 紙粘土と布を使って表情豊かな人形作りに挑戦。



■夏休みものづくりルーム My はしづくり

開催日時 8月5日(日) 10:00～
講師 杉山明博氏(静岡大学名誉教授)
対象・定員 小学生 20人
参加人数 11名
内容 木の特性についてお話を聞き、木を根気強く削り出して自分だけの箸とオブジェを制作。

■夏休みものづくりルーム ミニチュアをつくろう～パティシエになろう

開催日時 8月10日(金) 10:00～
対象・定員 小学生 20人
参加人数 20名
内容 樹脂粘土やシリコン型を使って、小さなおかしを制作。本物そっくりの造形を目指した。

■ようこそ夜の博物館へ 安部朱実創作人形展 昭和の家族

開催日時 8月31日(金) 19:00～
対象・定員 高校生以上 20人
参加人数 1名
内容 夜の博物館で展覧会をじっくり鑑賞。「昭和」という時代の記憶にも触れた。

■包むころ ふろしき

開催日時 9月21日(金) 19:00～
対象・定員 高校生以上 20人
参加人数 5名
内容 一枚の布が持つ力を昔ながらの利用方法に加え、新しい提案も含めて紹介。



■和の時 香るころ 練香づくり

開催日時 10月28日(月) 19:00～
講師 お香を楽しむ会
対象・定員 高校生以上 20人
参加人数 14名
内容 香料の種類と歴史を学んだのち、香料を調合して練香づくりに挑戦。

■ようこそ夜の博物館へ たのしむ美術『国画会にみる山形ゆかりの美術』

開催日時 11月2日(金) 19:00～
対象・定員 どなたでも 20人
参加人数 8名
内容 夜の展示室で企画展をじっくり鑑賞。

■バルサでつくるすてきなクリスマスオブジェ

開催日時 11月23日（金祝）10：00～
 対象・定員 小学生親子 20人
 参加人数 12名
 内 容 軽くて加工が容易な「バルサ材」を用いて親子でクリスマス飾りを制作。



◆連続ワークショップ きみもチルドレンキュレーターズ8

学芸員のしごと—資料の管理と整理—&キャリア

小学校5年生～高校3年生 10名

8年目に入った今年は、原資料の整理を連続して展開し、資料の持つ意味を考えながら取り扱いの注意や保存法について体験を積んだ。メンバーが高学年になってきているため他の習い事や部活動とのスケジュール調整が難しく、全員で活動できる機会が減少した。アウトリーチでは全員揃って東北芸術工科大学に出向き、興味のある学科での見学、造形体験を行なった。

5月12日（日）	終日	募集制ワークショップ「誰も知らない博物館」スタッフ
5月27日（日）	終日	アウトリーチ 東北芸術工科大学オープンキャンパス見学
8月5日（日）	10：00～16：30	ワークショップ材料準備
9月17日（月祝）	13：30～16：30	桜井祐一寄贈資料写真整理
10月13日（土）	13：30～16：30	桜井祐一寄贈資料写真整理
11月11日（日）	13：30～16：30	桜井祐一寄贈資料写真整理
12月16日（日）	13：30～16：30	桜井祐一寄贈資料レリーフ整理
1月20日（日）	13：30～16：30	桜井祐一寄贈資料レリーフ整理
2月18日（日）	13：30～16：30	プレイショップ造形プログラム「和菓子作り」仕込作業
3月20日（水祝）	13：30～16：30	年度のまとめと次年度計画

自由参加制ワークショップ

申込や参加費が不要の自由参加制ワークショップは、気軽に参加して頂けるような雰囲気作りを心掛けた。地域の来館者はもちろん、通りすがりの観光客などもその土地の風土や、民俗を感じて頂けるようなプログラムを開催。

■笹まきをつくろう

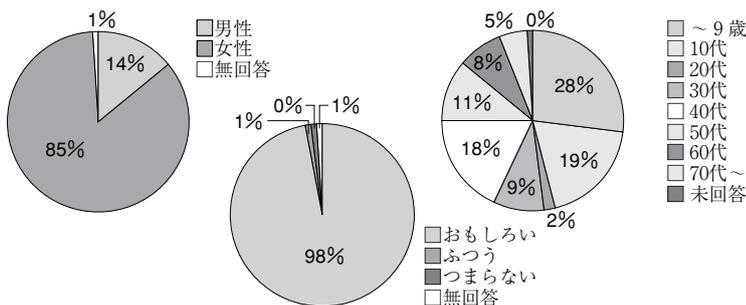
開催日時 6月23日（土）
 参加人数 57名
 内 容 開館以来毎年継続のプログラム。
 郷土の保存食「笹まき」の作り方を体験し、笹の効用や「包む」という工夫と技についても紹介した。



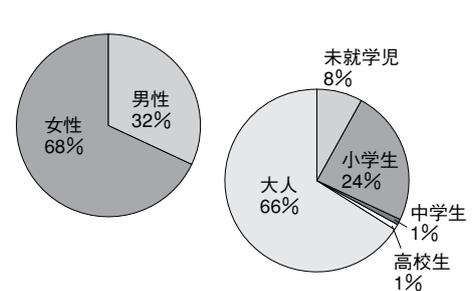
■むかしむかしを聞こう 協力:米沢とんと昔の会（伝国の杜サポーター）

開催日時 ①7月7日（土）②8月11日（土）③9月8日（土）④10月13日（土）⑤11月3日（土）
 参加人数 ①19人 ②28人 ③23人 ④31人 ⑤31人
 内 容 よねざわとんと昔の会の協力を得て毎年開催。おなじみの昔がたりから創作まで方言による暖かい語りを聞かせて頂いた。

募集制ワークショップ参加者傾向



自由参加制ワークショップ参加者傾向



(2) プレイショップ

目 的

「Hands and Heart～手と心で感じよう～」をテーマに、日常の中で様々な想像と創造力を生み出すきっかけのひとつとなる場所・空間・時間を提供し、純粹に心で感じ、楽しんでいただく。日本古来の楽器や玩具、日本独自の手工芸などを紹介するとともに、スイッチやボタン一つで動いてしまうものではなく、自らの手で触り、動かし、感じることのできる環境を提供する。現在失われつつある日本の伝統を一部ではあるが伝承していく。

内 容

毎月違うプログラムを展開。2～3月は昨年同様「おきたま雛回廊キャンペーン」に協力する形で計画を変更し、ひな祭りにちなんだ造形活動を展開した。

<マンスリープログラム 季節の行事と造形体験>

- 4月 お花見／春のおりがみ
- 5月 端午の節句／Myめんこづくり
- 6月 さなぶり／体験！墨流し
- 7月 たなばた／織り姫になろう！
- 8月 盂蘭盆会／色であそぼうスパッタリング
- 9月 重陽の節句／秋のおりがみ
- 10月 お月見／ブルーノムナーリのさまざまなかたち
- 11月 七五三／型絵染で年賀状づくり
- 12月 いろいろプレイング／デザイナーズチェアを楽しもう5（協力：山形大学地域文化教育学部）
- 1月 お正月／小正月 和紙でつくろう鬼の面 だんごの木
- 2月 節分／おひなだんだん
- 3月 桃の節句／紙粘土で和菓子づくり



平成24年度プレイショップ利用者9591人

(3) 学校との連携(ミュージアムスクール・施設・展示見学・出前授業・職場体験の受入)

利用日	内容	利用人数
ミュージアムスクール（学校側が来館・学芸員が授業に参加）		
5月7日（月）	美術科（洛中洛外図屏風鑑賞）	米沢市立第二中学校 140
5月9日（水）	〃	〃
5月17日（木）	〃	〃
7月12日（木）	企画展鑑賞	米沢市立興譲小学校5年 48
施設利用・見学		
4月24日（火）	修学旅行	福島県二本松市立東和中学校 68
5月1日（火）	校外学習（鷹山展見学）	米沢市立東部小学校2年 108
5月1日（火）	校外学習（鷹山展見学）	米沢市立三沢東部小学校4～6年 30
5月19日～8月30日	美術科（洛中洛外図屏風鑑賞）	米沢市立第二中学校（個別見学） 140
5月30日（水）	施設見学	仙台高等専門学校 建築デザイン学科 45
6月16日～7月16日	施設・展示見学	米沢市立第三中学校1～3年 350
6月30日～7月16日	美術科鑑賞	米沢市立第六中学校1～3年 130
7月2日（月）	美術科鑑賞	米沢市立第二中学校1～3年 462
7月5日（木）	施設・展示見学	白鷹町立東中学校 34
7月10日（火）	社会科学習	米沢市立南部小学校6年 87
7月12日（木）	施設・展示見学	米沢市立興譲小学校5年 48
7月13日（金）	社会科見学	米沢市立松川小学校3年 44
8月31日（火）	施設・展示見学	米沢市立広幡小学校2年 2
9月5日（水）	展示見学	米沢市立第六中学校1年 44
9月5日（水）	展示見学	米沢市立第二中学校1年 34

9月6日(木)	オリエンテーリング	米沢市立第七中学校1年	95
9月11日(火)	校外学習	山形県立米沢養護学校中学部	1
9月12日(水)	フィールドワーク	米沢市立第三中学校1年	102
9月13日(木)	総合学習	米沢市立第二中学校3年	20
9月13日(木)	学年行事	長井市立長井南中学校1年	107
9月19日(水)	社会科学習	米沢市立愛宕小学校	49
10月11日(木)	クラブ活動	米沢市立西部小学校	38
10月12日(金)	社会科学習	米沢市立窪田小学校3年	76
10月12日～11月15日	展示見学	米沢市立第二中学校	462
10月13日～11月25日	展示見学	米沢市立第三中学校	350
10月16日(火)	生活科校外学習	米沢市立南部小学校6年	81
10月22日～25日	展示見学	九里学園高校美術科	70
11月6日(火)	洛洛原本・企画展見学	米沢市立興讓小学校6年	61
11月8日(木)	洛洛原本・企画展見学	米沢市立興讓小学校4・5年	60
11月8日(木)	校外学習	天童市立長岡小学校	72
11月9日(金)	常設展見学	福島市立笹谷小学校	106
11月22日(木)	校外学習	米沢市立万世小学校特別支援学級	4
2月14日(木)	校外学習	米沢市立松川小学校	6

出前授業（博物館側が学校へ資料を持って出向く）

5月8日(火)	美術科（後藤克芳作品）	米沢市立第二中学校	62
5月10日(木)	美術科（後藤克芳作品）	米沢市立第二中学校	93
6月30日(土)	うちに型絵染	米沢市立興讓小学校2年（PTA行事）	49
7月13日(金)	洛中洛外図屏風鑑賞	米沢市立南部小学校	80
7月19日(木)	洛中洛外図屏風鑑賞・模写	米沢市立関根小学校	19
8月1日(水)	ハニカム紙造形	窪田児童センター1～6年	44
8月9日(木)	ミニチュア制作	学童 風の子クラブ1～6年	60
9月5日(水)	型絵染	米沢市立第二中学校	30
10月22日(月)	洛中洛外図屏風鑑賞	南陽市立漆山小学校6年	32
11月5日(月)	洛中洛外図屏風鑑賞	米沢市立興讓小学校5・6年	103

職場体験

9月3日～13日	米沢チャレンジウィーク	市内中学校5校から受入	10
9月10日～9月24日	山形大学インターンシップ		3

博物館実習

8月20日～26日	米沢女子短期大学・東北芸術工科大学・大正大学・酪農学園大学から受入		9
-----------	-----------------------------------	--	---

教職員研修

5月9日(水)	研修	米沢市小学校社会科部会	30
---------	----	-------------	----

その他 体験学習室利用ほか

4月13日(金)	昼食休憩（ピロティ）	米沢市立第一中学校	230
10月16日(火)	生活科校外学習（体験学習室利用）	米沢市立南部小学校6年	81

合計 4509

□職場体験

米沢市内の中学校がキャリア教育の一環として取り組んでいる「米沢チャレンジウィーク（YCW）」に協力。博物館業務としては、展示室の監視・もぎり等の接客、書庫や収蔵資料の整理等を中心に行った。

米沢市立第三中学校：2名 米沢市立第五中学校：2名 米沢市立第六中学校：2名
米沢市立第七中学校：2名 米沢市立南原中学校：2名

平成24年度 米沢チャレンジウィーク業務

勤務時間:8:30~16:00 AM=9:00~12:00 昼休=12:00~13:00 PM=13:00~16:00

9月3日(月)		9月4日(火)		9月5日(水)		9月6日(木)		9月7日(金)		
AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
A 施設案内・ 展示見学	FCラベル貼り	文書整理 (袋作成等含)	館外環境整備	フロント業務 総合	楽屋準備	広報物発送 業務	広報物発送 業務			
		入館料等の 検算		フロント業務 情報						
		文書整理 (袋作成等含)		フロント業務 もぎり						
		入館料等の 検算		フロント業務 企画						
	テープカット 用品準備	施設案内・ 展示見学	フロント業務 体験学習室	広報物発送 業務	FC発送作業			納品書整理	舞台準備	
			フロント業務 企画							昭和展売上 まとめ
			フロント業務 常設							
			フロント業務 常設							舞台準備

9月10日(月)		9月11日(火)		9月12日(水)		9月13日(木)	
AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
I 施設案内・ 展示見学	貸館業務	資料整理	資料整理	企画	切手在庫管理	もぎり	公演準備
				もぎり			

□インターンシップ受入

山形大学インターンシップ生を下記の通り受け入れた。

山形大学 3年 人文学部法経政策学科 2名
山形大学 3年 地域教育文化学部文化創造学科 1名

日程	場所	8:30~12:00	場所	13:00~17:15
9月10日(月)	館内	館内案内・自主研修	館内	接遇業務研修
9月11日(火)	バックヤード	教育普及広報物発送準備／閉架書庫整理	収蔵庫	教育普及広報物発送準備／閉架書庫整理
9月12日(水)	収蔵庫	教育普及広報物発送準備／清水大典資料整理①	収蔵庫	清水大典資料整理②
9月13日(木)	バックヤード	清水大典資料整理③	バックヤード	教育普及広報物発送準備／預かり資料撮影
9月14日(金)	休			
9月15日(土)	館内	接遇業務	館内	接遇業務
9月16日(日)	館内	接遇業務	館内	接遇業務
9月17日(月・祝)	収蔵庫	香坂茂吉資料整理①	収蔵庫	香坂茂吉資料整理②
9月18日(火)	休			
9月19日(水)	休			
9月20日(木)	収蔵庫	閉架書庫整理作業	収蔵庫	参考文献整理
9月21日(金)	収蔵庫	清水大典資料整理③	収蔵庫	清水大典資料整理④
9月22日(土)	館内	接遇業務	館内	接遇業務
9月23日(日)	館内	接遇業務	館内	接遇業務
9月24日(月)	館内	椿日記整理／県美展見学	館内	国展発送業務／日記整理

□博物館実習

博物館学芸員資格取得講座を受講している学生の実習機関として、9名の受入を行った。

平成24年度 博物館実習日程表

日付	8:30~12:00		13:00~17:30	
	班	内 容	班	内 容
8月20日(月)	全員	オリエンテーション 館内案内・展示見学	全員	資料の取扱(古文書—自主学習含む)
8月21日(火)	全員	9:00~ 作業(資料整理) 11:00~ 燻蒸資料をフレーム内へ移動	全員	資料の取扱(古文書—自主学習含む)
8月22日(水)	全員	資料の取扱(工芸品—掛軸、卷子、刀剣)	全員	館長室展示替(絵画取扱・展示具説明) 近現代美術調書作成・スケッチ整理
8月23日(木)	全員	9:00~燻蒸資料戻し入れ 10:30~ 作業(資料整理)	全員	IPMについて(理論と実践)
8月24日(金)	A B	フロント業務 常設展示室のガイド立案(自習含む)	A B	常設展示室のガイド立案(自習含む) フロント業務
8月25日(土)	全員	常設展示室のガイド立案(自習含む)	全員	プレゼンテーション総括
8月26日(日)	一名	フロント業務	一名	まとめ作業

(4) 情報ライブラリー

無料スペースである情報ライブラリーでは、企画展に関連した書籍をピックアップして紹介し、展示の内容を補った。また、昨年に引き続き「上杉氏のルーツ」の映像ソフトの続編を制作した。

(5) レファレンス

平成24年度レファレンス処理件数 71件

(6) 市民との協働

■伝国の杜サポーター

各部門が継続して来館者サービスを中心とした活動を行った。

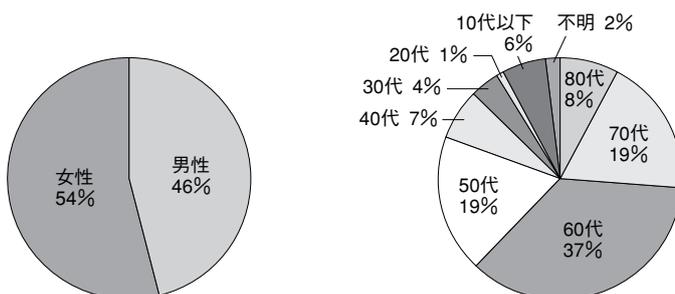
<p>教育普及 土日・祝日を中心に体験学習室でのプレイショップスタッフとしての活動を継続した。毎月勉強会を開催し、来館者対応や提供するプログラムについて意見交換をし、業務に反映した。サポーター個々の得意分野を活かしたきめ細かい対応や温かい言葉遣いなどが好評であり、リピーターも増加している。</p>	<p>広 報 伝国の杜事業のポスター、チラシの発送作業を随時行った。伝国の杜関連記事の収集と整理を継続して行った。</p>	<p>インフォメーション 土日・祝日を中心館内案内、観光案内を随時行った。</p>
--	--	--

■伝国の杜ファンクラブ

通常ファンクラブ会員特典のほか、今年度はファンクラブ事業として「高橋由一展鑑賞会」(山形美術館)、置賜文化ホール自主事業「能楽堂のひな祭り」への会員招待を行った。

平成24年度会員数 一般248人 学生7人 ジュニア5人

会員データ



3 調 査

(1) 館蔵資料調査

(歴史・民俗)

寄贈資料、購入資料、寄託資料の目録作成。古文書の解説を含む概要調査。資料収集に関わる新資料の調査。展覧会準備調査を調査員とともにいった。調査員(敬称略) 佐藤美保子、和田節子

(2) 資料収集に伴う調査

資料収集の項目参照

(3) 展覧会準備調査

■平成24年度企画展「美の系譜—国画会にみる山形の美術—」借用依頼、作品調査、写真撮影等

平成24年6月12日 山形県山形市 山形大学附属博物館、遠藤賢太郎氏宅

平成24年6月20日 埼玉県さいたま市 埼玉県立近代美術館

埼玉県新座市 越田直子氏宅(茨木敏夫氏遺族)

平成24年7月29日 山形県山形市 山形大学附属博物館、山形美術館

■平成26年度企画展「新美南吉」資料調査

平成24年8月31日 山形県高島町 浜田広介記念館

■平成24年度コレクション展「上杉家文書国宝への道～紙と修復の世界～」研究会、打合せ等

平成24年10月13日 東京都文京区 東京大学

■平成25年度特別展「戦国のメモリー」研究会、打合せ等

平成24年10月13日、14日 東京都文京区 東京大学史料編纂所

滋賀県近江八幡市 安土城考古博物館

岐阜県岐阜市 岐阜市歴史博物館

平成24年11月5日、6日 滋賀県彦根市 彦根城博物館

愛知県名古屋市 秀吉清正記念館

岐阜県岐阜市 岐阜市歴史博物館

平成24年12月19日～21日 東京都文京区 東京大学史料編纂所

愛知県名古屋市 名古屋市博物館

大阪府大阪市 大阪城天守閣

埼玉県行田市 行田市郷土博物館

平成25年1月23日 山形県上市 上山城

平成25年1月30日 宮城県仙台市 仙台市博物館

平成25年2月12日、13日 長野県長野市 真田宝物館

新潟県長岡市 新潟県立歴史博物館

(4) 資料調査員による調査

博物館に必要な資料を適正かつ円滑に進めること、また展示、研究等に関する基礎データを得ることを目的として、23年度は下記の調査員に依頼した。任期は1年。

(敬称略)	氏名	分野	備考
	小林 文雄	近世史	山形県立米沢女子短期大学教授
	布施 賢治	近代史	山形県立米沢女子短期大学准教授
	小野 栄	郷土史	郷土史家・元米沢市史編纂専門員
	佐藤 繁	美術	米沢市立興譲小学校教頭
	月本 寿彦	美術	公益財団法人山形美術館学芸員
	村山 鎮雄	美術	美術研究者・元府中市美術館館長

(5) 上杉家・米沢藩関連資料調査

所蔵者等から寄せられた情報をもとに、随時調査を行った。

4 収 集

(1) 資料収集

資料収集検討会議 ■第一回 平成24年 8月21日 (火)

受入審査対象資料 (購入)

No 1	(天正元年)12月3日付松平真乗宛上杉謙信書状	1面	No 2	直江兼統漢詩「天台道中」	1幅
No 3	(寛永20年)6月18日平林正興宛上杉定勝書状	1幅	No 4	上杉家諸事	1冊
No 5	吉良家夜討大概全	1冊	No 6	大日本磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後国郡沿革色分輿地全圖	1幅
No 7	宮島詠土書	40点	No 8	上杉鷹山書	1幅
No 9	細井平洲書	双幅	No10	渋井太室・細井平洲送別の詩	1巻
No11	狩野文信筆「文殊菩薩」	1幅	No12	狩野文信筆「白衣観音」	1幅
No13	計見東山筆「花鳥図」	6枚(まくり)	No14	計見東山筆「山水図」	6枚(まくり)
No15	島貫馨秀筆「慈母観音」	1幅	No16	脇指 銘 米沢住尾形宗義	1口
No17	「河中嶋五箇度合戦記」	1冊	No18	桜井祐一 五月の女(原形)	1体

(寄贈)

No 1	武藤家文書	176点	No 2	年始御規式之図	1鋪
No 3	目賀多家粉本	42枚	No 4	「Peach Box Plan」後藤克芳	1面
No 5	上杉謙信像	一体(海軍中将 今村信次郎の拝領品)	No 6	洋学史研究	29冊
No 7	堀内文書の研究(別刷)	10冊	No 8	堀内寛忠・黒川良安・青木研造共訳「醫理学源」(「旧乾894」)	
No 9	津江栢寿鑑定「疱瘡豫薬並除洗方」(「旧乾4798」)		No10	桜井祐一作「千 利休像」	1体

*購入…No 1～14購入、No15購入せず、No16～18購入 *寄贈…No 1次年度に持ち越し、No 2～10受入

■第二回 12月13日 (木)

受入審査対象資料

No 1	フーフエラント「医学必携」初版本	1冊	No 2	遠藤桑珠筆「水彩画(スペイン闘牛)」	
No 3	源忠孚筆「上杉謙信・武田信玄一騎打ち図」	1幅	No 4	作者不詳「上杉謙信・武田信玄対決図」	1幅
No 5	住吉広定筆「上杉謙信像」	1幅	No 6	一寿斎芳員筆武者絵「川中島大合戦」	3紙継
No 7	玉蘭斎秀貞筆武者絵「上杉武田陣矢合之図」	3紙継	No 8	重宣筆武者絵「直江山城」	1紙
No 9	遠藤桑珠筆「山挾」(第5回日展)	2曲一隻	No10	菅原白龍筆	36幅
No11	黒漆塗菊桐紋蒔絵台火鉢	1口	No12	直江城州公詩「巴陵夜別」	1幅
No13	直江山城守詩「湖辺の秋」	1幅	No14	高札(山林方)	1面
No15	「宮内全図(字限絵図)」等	28件	No16	上杉茂憲筆「椿樹千尋碧桃幾度紅」	1幅
No17	目賀多雲川筆 寒山拾得・獅子図	3幅対			
No18	太刀 銘 越後国住行光作	1口 天文二十三年二月吉日			
No19	福王寺法林筆	春暁の臥龍梅	1面(2枚1組)	再興第80回日本美術院展	
No20	桜井祐一作「女座像1959年」	1体	No21	椿貞雄筆「裸婦トルソ」	1面
No22	椿貞雄筆「富士図」	1面	No23	椿貞雄筆「舞妓図」	1面
No24	椿貞雄筆「牡丹図」	1面	No25	橘松竹葵紋蒔絵文箱	1合
No26	米沢藩士書状	1括			
No27	酒井羽雪・狩野文信筆 唐人図屏風(松と三老人)	2曲1隻			
No28	窪島紫陽筆 唐人図屏風(白花と老人)	2曲1隻	No29	上杉齊憲筆「穆清」	1幅
No30	平田東助宛添田敬一郎書簡	1幅	No31	相良人形一式	47点
No32	目賀多家資料(粉本など)	一式	No33	沢口静山「雁之図」	1幅
No34	上杉鷹山筆「龍池柳色雨中深」	1幅	No35	上杉氏・米沢藩関連資料	34件

*No 1～10購入 (No10は12幅のみ購入)、No11購入せず、No12～17購入、No18購入せず、No19は収集委員会にて審議、No20は寄贈、No21～No26は購入、No27～30は購入せず、No31～35は次年度に持ち越し

資料収集委員会

平成25年1月16日（水）

受入審査対象資料

No 1 福王寺法林筆

春暁の臥龍梅

1面（2枚1組）再興第80回日本美術院展

*購入決定

収集委員会委員（任期：平成25年1月16日～平成27年1月15日）

- 加藤 千明（近代美術） 公益財団法人山形美術館館長
- 東海林静男（歴史：近代史） 山形県立米沢女子短期大学名誉教授
- 濱田 直嗣（古美術） 宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）館長
- 山田 邦明（歴史：中世史） 愛知大学教授
- 湯山 賢一（書跡：古文書） 奈良国立博物館館長
- 横山 昭男（歴史：近世史） 山形大学名誉教授

（2）平成24年度受入資料

■受入資料

資料ID	資料名	制作者	受入区分	分類
A2012-001-01	目賀多家粉本 動物図（馬・牛・山羊）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-02	目賀多家粉本 説話図（中国風俗）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-03	目賀多家粉本 牛図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-04	目賀多家粉本 御所図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-05	目賀多家粉本 寿老人図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-06	目賀多家粉本 狩獵図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-07	目賀多家粉本 波上日月	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-08	目賀多家粉本 鞍馬大僧正尊像	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-09	目賀多家粉本 弁財天像	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-10	目賀多家粉本 弁財天像	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-11	目賀多家粉本 徳山樓●図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-12	目賀多家粉本 牛図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-13	目賀多家粉本 人物図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-14	目賀多家粉本 農耕図他（中国風俗）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-15	目賀多家粉本 松梅図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-16	目賀多家粉本 松梅龍虎	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-17	目賀多家粉本 画藁	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-18	目賀多家粉本 十二月風俗図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-19	目賀多家粉本 説話図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-20	目賀多家粉本 聖人図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-21	目賀多家粉本 動物図（鳥）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-22	目賀多家粉本 鳥他粉本	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-23	目賀多家粉本 梅に鶴図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-24	目賀多家粉本 聖人図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-25	目賀多家粉本 人物図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-26	目賀多家粉本 老翁翁亭図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-27	目賀多家粉本 春秋耕作図粉本	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-28	目賀多家粉本 説話図屏風粉本①	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-29	目賀多家粉本 説話図屏風粉本②	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-30	目賀多家粉本 説話図屏風粉本（縮図）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-31	目賀多家粉本 説話図（騎馬人物）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-32	目賀多家粉本 説話図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-33	目賀多家粉本 風俗図（象のいる）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-34	目賀多家粉本 人頭牛身、騎馬像	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-35	目賀多家粉本 曲水図	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-36	目賀多家粉本 人物他	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-37	目賀多家粉本 人物	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-38	目賀多家粉本 人物	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-39	目賀多家粉本 竹に鶴	目賀多	寄贈	絵画

資料ID	資料名	制作者	受入区分	分類
A2012-001-40	目賀多家粉本 鶏（彩色）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-41	目賀多家粉本 松（断片）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-001-42	目賀多家粉本 絵手本（木版摺り）	目賀多	寄贈	絵画
A2012-002	出羽国置賜郡之内高辻帳・家中分限帳		寄贈	歴史資料
A2012-003	年始御規四季之図		寄贈	歴史資料
A2012-004-01	醫學学源		寄贈	歴史資料
A2012-004-02	痲瘡豫薬並洗方		寄贈	歴史資料
A2012-005	千利休像	桜井祐一	寄贈	彫刻
A2012-006	上杉謙信像	滝川美堂	寄贈	彫刻
A2012-007	（寛永20年）6月18日付平林正興宛上杉定勝書状		購入	歴史資料
A2012-008	直江兼統詩「天台道中」	直江兼統	購入	歴史資料
A2012-009	河中嶋五箇度合戦記		購入	歴史資料
A2012-001-01	上杉家諸事		購入	歴史資料
A2012-001-02	吉良家夜討大概全		購入	歴史資料
A2012-001-03	大日本磐城岩代陸奥陸奥奥羽前羽後国郡沿革色分輿地全図		購入	歴史資料
A2012-011	（天正元年）12月3日付松平真乗宛上杉謙信書状写		購入	歴史資料
A2012-012	フーフエラント「医学必携」初版本		購入	歴史資料
A2012-013	スペイン闘牛	遠藤桑珠	購入	絵画
A2012-014	五月の女（石膏原型）	桜井祐一	購入	彫刻
A2012-015	寒山拾得	桜井祐一	購入	彫刻
A2012-016-01	月華夕照	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-016-02	富士黎明	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-016-03	初夏の響	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-016-04	ヒマラヤの朝（タムセルク）	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-017	山峡	遠藤桑珠	購入	絵画
A2012-018	春暁の臥龍梅	福王寺法林	購入	絵画
A2012-019-01	富嶽	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-02	飛瀑	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-03	銀山玉林	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-04	舟下り	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-05	月	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-06	藤棚	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-07	田植	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-08	舟 笛吹き 芒	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-09	紅葉 橋	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-10	山間の庵 梅花	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-11	山家風景	菅原白龍	購入	絵画
A2012-019-12	桜	菅原白龍	購入	絵画
A2012-020	上杉謙信像	住吉広定	購入	絵画

資料ID	資料名	制作者	受入区分	分類
A2012-021	上杉謙信・武田信玄一騎打ち図	源 忠孚	購入	絵画
A2012-022	上杉謙信・武田信玄対決図		購入	絵画
A2012-023	川中島大合戦	一斎斎芳員	購入	絵画
A2012-024	上杉武田対陣矢合之図	玉蘭貞秀	購入	絵画
A2012-025	直江山城	重宣	購入	絵画
A2012-026	直江城州公詩「巴陵夜別」	直江兼統	購入	歴史資料
A2012-027	直江兼統書「湖辺の秋」	直江兼統	購入	歴史資料
A2012-028-01~90	米沢藩士書状		購入	歴史資料
A2012-029-01	宮島詠士書「難陋居」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-02	宮島詠士書「群山萬壑赴荆門」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-03	宮島詠士書「東閣官梅動詩興」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-04	宮島詠士書「當是時」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-05	宮島詠士書「放翁激發」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-06	宮島詠士書「烏呈三趾」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-07	宮島詠士書「故條樹」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-08	宮島詠士書「父掉扁舟」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-09	宮島詠士書「琵琶起舞換新聲」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-10	宮島詠士書「天開萬國歡」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-11	宮島詠士書「更上一層樓」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-12	宮島詠士書「一封朝奏九重天」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-13	宮島詠士書「封花一笑」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-14	宮島詠士書「聲聞於天」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-15	宮島詠士書「昨夜秋風入玉関」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-16	林安宛宮島大八（詠士）書簡	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-17	宮島詠士書「一死酬恩果奈何」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-18	宮島詠士書「武昌一老鬢終盈」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-19	宮島詠士書「山雨欲來風滿樓」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-20	宮島詠士書「月落烏啼霜滿天」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-21	宮島詠士書「醉餘倚劍吐光芒」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-22	宮島詠士書「天子令德」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-23	宮島詠士書「海上看華十九年」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-24	宮島詠士書「陽光必照」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-25	宮島詠士書「絶漢大軍還」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-26	宮島詠士書「花明柳暗馬頭春」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-27	宮島詠士書「大慈大悲」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-28	宮島詠士書「魏魯郡太守張府君清頌之碑」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-29	宮島詠士書「火樹星毬不夜天」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-30	宮島詠士書「身留一劍答君恩」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-31	宮島詠士書「樂哉此遊」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-32	宮島詠士書「山嶽巍然以身當國」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-33	宮島詠士書「功蓋三分國」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-34	宮島詠士書「八幡山崎日欲暮」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-35	宮島詠士書「十年江海寄浮沈」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-36	宮島詠士書「乱參桐帽花如雪」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-37	宮島詠士書「八陣跡存憂府東」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-38	宮島詠士書「風林織月落」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-39	宮島詠士書「銀鉤鐵劃巧為字」	宮島詠士	購入	歴史資料
A2012-029-40	宮島詠士書「氣淑年和」	宮島詠士	購入	歴史資料

資料ID	資料名	制作者	受入区分	分類
A2012-029-41	上杉鷹山書	上杉鷹山	購入	書跡
A2012-029-42	渋井太室・細井平洲送別の詩		購入	書跡
A2012-029-43	文殊菩薩	狩野文信	購入	絵画
A2012-029-44	白衣観音	狩野文信	購入	絵画
A2012-029-45	花鳥図	計見東山	購入	絵画
A2012-029-46	山水図	計見東山	購入	絵画
A2012-029-47	脇差 銘 米沢住尾形宗義		購入	刀剣
A2012-030-01	バリの教会	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-02	宮廷舞踊	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-03	川西獅子踊	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-04	白布	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-05	裸婦小品	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-06	綱木民家	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-07	南原民家	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-08	女神	黒沢悟郎	寄贈	絵画
A2012-030-09	雀	六●	寄贈	絵画
A2012-030-10	いわし	中川清	寄贈	彫刻
A2012-030-11	わたしも一人	秋山巖	寄贈	絵画
A2012-030-12	こけし	椿貞雄	寄贈	絵画
A2012-030-13	ぼたん	小野竹喬	寄贈	絵画
A2012-030-14	秩父宮妃御歌		寄贈	歴史資料
A2012-030-15	書「花の春」	琴句	寄贈	書跡
A2012-030-16	山水図		寄贈	絵画
A2012-030-17	書「故郷在何處」	尾崎周道	寄贈	書跡
A2012-030-18	書「斯道孤」	尾崎周道	寄贈	書跡
A2012-030-19	山水図	華生	寄贈	絵画
A2012-030-20	書「人の一生は…」	亀楽	寄贈	書跡
A2012-030-21	明治天皇御製百首	夏井翁	寄贈	書跡
A2012-030-22	神保蘭室書	神保蘭室	寄贈	書跡
A2012-030-23	山下源太郎書「我信宣於中外」	山下源太郎	寄贈	書跡
A2012-030-24	山下源太郎書簡（業書）・肖像写真	山下源太郎	寄贈	歴史資料
A2012-030-01	道草（あけび）	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-02	柘榴	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-03	落葉	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-04	鉄線花	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-05	鶏頭	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-06	垂梅	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-07	牡丹	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-08	タムセルク峰・朝一昼一夜	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-09	ヒマラヤ・朝	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-10	ヒマラヤ・昼	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-11	ヒマラヤの花（石南花の大木）	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-12	佐渡の海	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-13	浅間山	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-14	奥日光	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-15	桜島	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-16	松	福王寺法林	寄贈	絵画
A2012-030-17	北海道	福王寺法林	寄贈	絵画

■受入図書

分類番号	図書番号	書名
K756	L12-0671	米澤鑿正寶刀録
212.5	L12-0012	行司免遺跡第1～4次発掘調査報告書 第一分冊 本文編
212.5	L12-0013	行司免遺跡第1～4次発掘調査報告書 第二分冊 写真図版編
212.5	L12-0014	矢馳A遺跡第1～4次発掘調査報告書 第一分冊 本文編
212.5	L12-0015	矢馳A遺跡第1～4次発掘調査報告書 第二分冊 写真図版編
212.5	L12-0016	川内袋遺跡発掘調査報告書 第一分冊 本文編

分類番号	図書番号	書名
212.5	L12-0017	川内袋遺跡発掘調査報告書 第二分冊 写真図版編
212.5	L12-0018	木の下館跡第1～4次発掘調査報告書
212.5	L12-0019	出張坂城跡第1・2次発掘調査報告書
212.5	L12-0020	堤屋敷遺跡第2次・下屋敷遺跡発掘調査報告書
212.5	L12-0021	川前2遺跡第3・4次発掘調査報告書
212.5	L12-0022	作野遺跡第3次発掘調査報告書

分類番号	図書番号	書名
212.5	L12-0023	鎌倉上遺跡第1・2次発掘調査報告書
212.5	L12-0024	山形城三の丸跡第5・7・8次発掘調査報告書
689	L12-0028	観光ガイドブック「五智歴史散歩」
K289	L12-0029	上杉謙信のすべて
K288.3	L12-0030	越後上杉一族
214.1	L12-0031	新潟県誌解き散歩
708	L12-0032	佐野美術館コレクション選
724	L12-0033	日本を旅する 水影風景スケッチ 一全国の絵になるスポット・構図・テクニク
703.8	L12-0034	2011 第99回 日本水彩展出品目録
724	L12-0035	第99回 日本水彩展図録
216.2	L12-0036	京都を歴史に沿って歩く本 平安～室町時代篇
375	L12-0043	昭和の紙芝居 ～戦中・戦後の娯楽と教育～
218.2	L12-0044	高松松平家博物図譜 写生画帖 菜蔬
756	L12-0045	別冊 金箔芸術の美「職金の人間国宝展」南田梅亭と西出大三 特別出品・江里佐代子
212.2	L12-0047	天神下II遺跡・大段遺跡・橋場遺跡
069.26	L12-0051	福島県歴史資料館収蔵資料目録 第43集
218.4	L12-0053	土佐藩主山内家墓所 調査報告書
386	L12-0054	伊勢大神楽 加藤菊太夫とその先祖 平成23年度報告書
810	L12-0056	ことばの海 国語学者 大槻文彦の足跡
211	L12-0057-0059	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 収蔵品目録 6～7
216.2	L12-0060	都市を描く 一京都と江戸一
289	L12-0061	本間光丘の思想に学ぶ 酒田に本間光丘あり 漫画で読む「公益の祖・本間光丘」
290	L12-0062	私たちの最上川を未来へ 一最上川流域の文化的景観一
212.3	L12-0064	宮城県多賀城跡調査研究所資料II 多賀城跡木簡I
212.3	L12-0065	宮城県多賀城跡調査研究所資料II 多賀城跡木簡I 図版編
219.6	L12-0067-1	都城島津家役所日記 1
784	L12-0068	霧ヶ峰スキーことばはじめ 一スキー場開拓にかけた諏訪人たちの熱き思い一
756	L12-0069	本小札紅糸威し剛丸 一大祝諏方家伝来の名宝一
215.2	L12-0070	諏訪地域考古資料 藤森栄一蒐集品目録
210.4	L12-0071	NHKさかのぼり日本史⑧ 室町・鎌倉「武士の世」の幕開け
210	L12-0074	ビジュアル百科 日本史1200人 1冊でまるわかり!
212.1	L12-0075	青森県史 資料編 中世3
210.47	L12-0076	戦国遺文 房総編 第一巻
210.47	L12-0077	戦国遺文 房総編 第二巻
210.47	L12-0078	戦国遺文 後北条編 第二巻
210.47	L12-0079	戦国遺文 後北条編 第三巻
210.47	L12-0080	戦国遺文 後北条編 第六巻
210.47	L12-0081	戦国遺文 後北条編 補遺編
210.47	L12-0082	戦国遺文 後北条編 第一巻
210.47	L12-0083	戦国遺文 後北条編 第四巻
753	L12-0084	テキスタイル用語辞典
386	L12-0085	神舞い人形 淡路人形伝統の生と死、そして再生
210.47	L12-0087	戦国遺文 後北条編 第五巻
212	L12-0089-0092	東北一万年のフィールドワーク 5～8
382	L12-0093	東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究
K330	L12-0096	日本商工会議所青年部 第29回 全国会長研修会 やまがた米沢会議
709	L12-0097	装コウ史
212.5	L12-0119	高瀬山遺跡(HO)3期発掘調査報告書
289	L12-0120	近代日本の書聖 日下部鳴鶴
214.1	L12-0121-0124	近世関川郷史料一～五
471	L12-0125	森と草原の歴史
773	L12-0126	国際日本学 一ことばとことばを超えるもの一
773	L12-0127	日本学とは何か 一ヨーロッパから見た日本研究、日本から見た日本研究一
K689	L12-0129	上杉の城下町 米沢コンベンション 施設・宿泊ガイド
520	L12-0130	建築家 保岡勝也の軌跡と川越
214.2	L12-0131	図説 魚津の歴史
K289	L12-0138	本間久雄 一最大正時代のヨーロッパ文化移入
377	L12-0140	平成21年度「動ける・話せる」学生の実践的育成 報告書
377	L12-0142	平成21年度「動ける・話せる」学生の実践的育成 やまがた公開講座 in 村山/置賜/西川町 報告書
212.5	L12-0145	分布調査報告書(38)

分類番号	図書番号	書名
212.5	L12-0146	山形県内重要遺跡確認調査報告書(4)
721	L12-0147	山口蓬春日記 第5巻
069.94	L12-0148	松井文庫所蔵古文書調査報告書 16
375	L12-0150	千葉市の教育
380	L12-0152	鯨
069.35	L12-0154	国立歴史民俗博物館資料目録6
069.35	L12-0155	国立歴史民俗博物館資料目録10
069.26	L12-0159	郡山市歴史資料館収蔵史料目録 第26集
210.4	L12-0160	本庄氏と色部氏
210.47	L12-0161	ライバルで読む日本史
186	L12-0164	中世の安房と鎌倉 一海で結ばれた信仰の道一
721	L12-0166	世情 大阪城天守閣収蔵 風俗図屏風にみる
K209.5	L12-0177-a	上杉鷹山の財政改革 一国と民のしあわせ一
216.3	L12-0178	徳川時代大坂城関係史料集 第15号
212.1	L12-0182	北前船と津軽西浜
756	L12-0185	日欧のサムライたち 一オーストリアと日本の武器武具展一
210	L12-0187	歴史民俗研究 第9輯
383	L12-0189	かぶりものと女のモノ語り
775	L12-0191	宝塚歌劇 一咲きつけて一世紀一
069	L12-0192	博物館 これからの博物館
288	L12-0199	後白河上皇「絵巻物」の力で武士に勝った帝
709	L12-0202	置賜地域における縄文時代遺跡の研究1
709	L12-0203	月布川流域における縄文時代遺跡の研究1
K273.2	L12-0205	南陽市史編集資料 第41号
069.41	L12-0208	新潟県立歴史博物館収蔵資料目録 中野登任コレクション目録I 板碑等拓本
212.3	L12-0210	和田家資料「内留」弘化四年
K274	L12-0211	米沢の神社・堂宇 7 一北部地区一
069.53	L12-0214	各務原市資料調査報告書 第35号
213.4	L12-0215	春日部市史 庄和地域 原始・古代・中世・近世
753	L12-0217	暮らしをささえる女性たち 一紡ぐ・織る・仕立てる・繕う一
723	L12-0221	二世五姓田芳柳の世界 一日本近代洋画の先駆け一
707	L12-0226	美術「心」論 漱石に学ぶ鑑賞入門
K274	L12-0228	町内誌 絆
069.91	L12-0233	北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B類 歴史 第9号
069.22	L12-0234	藤沢の文化財
380	L12-0238	香料植物
759	L12-0239	裸形と着装の人身史
215.5	L12-0241	村絵図III 一安城が原と碧海台地に展開した村々一
F760	L12-0242	Mozart
911.1	L12-0244	斎藤茂吉記念歌集 第38集
210	L12-0252	日本のアイデンティティ 一形成と反響一
210	L12-0253	国際日本学 第9号
175	L12-0260	神々への祈り 一神の若がえりとこころの再生
069.35	L12-0261	国立歴史民俗博物館要覧 2011 平成23年度版
290	L12-0062-b	私たちの最上川を未来へ 一最上川流域の文化的景観一
212.3	L12-0265	市内遺跡発掘調査 一角田郡山遺跡調査概報一
728	L12-0266	独往の人 會津八一
706.55	L12-0267	春日井市道風記念館30年のあゆみ
069.36	L12-0272-0273	東京都江戸東京博物館 調査報告書 第25集～26集
069.36	L12-0274	東京都江戸東京博物館資料目録 館蔵地図目録2 明治の地図
213.6	L12-0276	新八王子市史 資料編5 近現代1
362	L12-0279	記録史料と日本近世社会VI
069.25	L12-0281	「いにしえ」から「現代(いま)」そして「未来」へ
757	L12-0284	日本史色彩事典
291	L12-0285	国指定 史跡事典
210.47	L12-0286	戦国期越後上杉氏の研究
018.09	L12-0290	伊東祐彦関係資料目録
289	L12-0061	本間光丘の思想に学ぶ 酒田に本間光丘あり 漫画で読む「公益の祖・本間光丘」
290	L12-0062	私たちの最上川を未来へ 一最上川流域の文化的景観一
212.3	L12-0064	宮城県多賀城跡調査研究所資料II 多賀城跡木簡I

分類番号	図書番号	書名
212.3	L12-0065	宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ 多賀城跡木簡Ⅰ 図版編
219.6	L12-0067-1	都城島津家役所日記 1
784	L12-0068	霧ヶ峰スキーことはじめ -スキー場開拓にかけた諏訪人たちの熱き思い-
756	L12-0069	本小札紅糸威し胴丸 一六祝諏方家伝来の名宝-
215.2	L12-0070	諏訪地域考古資料 藤森栄一蒐集品目録
210.4	L12-0071	NHKさかのぼり日本史⑧ 室町・鎌倉"武士の世"の幕明け
210	L12-0074	ビジュアル百科 日本史1200人 1冊でまるわかり!
212.1	L12-0075	青森県史 資料編 中世3
210.47	L12-0076	戦国遺文 房総編 第一巻
210.47	L12-0077	戦国遺文 房総編 第二巻
210.47	L12-0078	戦国遺文 後北条編 第二巻
210.47	L12-0079	戦国遺文 後北条編 第三巻
210.47	L12-0080	戦国遺文 後北条編 第六巻
210.47	L12-0081	戦国遺文 後北条編 補遺編
210.47	L12-0082	戦国遺文 後北条編 第一巻
210.47	L12-0083	戦国遺文 後北条編 第四巻
753	L12-0084	テキスタイル用語辞典
386	L12-0085	神舞い人形 淡路人形伝統の生と死、そして再生
210.47	L12-0087	戦国遺文 後北条編 第五巻
212	L12-0089-0092	東北一万年のフィールドワーク 5~8
382	L12-0093	東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究
K330	L12-0096	日本商工会議所青年部 第29回 全国会長研修会 やまがた米沢会議
709	L12-0097	装コウ史
212.5	L12-0119	高瀬山遺跡(HO)3期発掘調査報告書
289	L12-0120	近代日本の書聖 日下部鳴鶴
214.1	L12-0121-0124	近世関川郷史料一〜五
471	L12-0125	森と草原の歴史
773	L12-0126	国際日本学 一ことばとことばを超えるもの一
773	L12-0127	日本学とは何か -ヨーロッパから見た日本研究、日本から見た日本研究-
K689	L12-0129	上杉の城下町 米沢コンベンション 施設・宿泊ガイド
520	L12-0130	建築家 保岡勝也の軌跡と川越
214.2	L12-0131	図説 魚津の歴史
K289	L12-0138	本間久雄 -大正時代のヨーロッパ文化移入
377	L12-0140	平成21年度「動ける・話せる」学生の実践的育成 報告書
377	L12-0142	平成21年度「動ける・話せる」学生の実践的育成 やまがた公開講座 in 村山/置賜/西川町 報告書
212.5	L12-0145	分布調査報告書(38)
212.5	L12-0146	山形県内重要遺跡確認調査報告書(4)
721	L12-0147	山口蓬春日記 第五巻
069.94	L12-0148	松井文庫所蔵古文書調査報告書 16
375	L12-0150	千葉市の教育
380	L12-0152	鱈
069.35	L12-0154	国立歴史民俗博物館資料目録6
069.35	L12-0155	国立歴史民俗博物館資料目録10
069.26	L12-0159	郡山市歴史資料館収蔵史料目録 第26集
210.4	L12-0160	本庄氏と色部氏
210.47	L12-0161	ライバルで読む日本史
186	L12-0164	中世の安房と鎌倉 -海で結ばれた信仰の道-
721	L12-0166	世情 大阪城天守閣収蔵 風俗図屏風にみる
K209.5	L12-0177-a	上杉鷹山の財政改革 -国と民のしあわせ-
216.3	L12-0178	徳川時代大坂城関係史料集 第15号
212.1	L12-0182	北前船と津軽西浜
756	L12-0185	日欧のサムライたち -オーストリアと日本の武器武器展-
210	L12-0187	歴史民俗研究 第9輯
383	L12-0189	かぶりものと女のモノ語り
775	L12-0191	宝塚歌劇 ~咲きつづけて一世紀~
069	L12-0192	博物館 これからの博物館
288	L12-0199	後白河上皇「絵巻物」の力で武士に勝った帝
709	L12-0202	置賜地域の終末期古墳5
709	L12-0203	月布川流域における縄文時代遺跡の研究1
K273.2	L12-0205	南陽市史編集資料 第41号

分類番号	図書番号	書名
069.41	L12-0208	新潟県立歴史博物館収蔵資料目録 中野登任コレクション目録1 板碑等拓本
212.3	L12-0210	和田家資料「内留」弘化四年
K274	L12-0211	米沢の神社・堂営 7 -北部地区-
069.53	L12-0214	各務原市資料調査報告書 第35号
213.4	L12-0215	春日部市史 庄和地域 原始・古代・中世・近世
753	L12-0217	暮らしをささえる女性たち -紡ぐ・織る・仕立てる・繕う-
723	L12-0221	二世五姓田芳柳の世界 -日本近代洋画の先駆け-
707	L12-0226	美術「心」論 漱石に学ぶ鑑賞入門
K274	L12-0228	町内誌 絆
069.91	L12-0233	北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B類 歴史 第9号
069.22	L12-0234	藤沢の文化財
380	L12-0238	香料植物
759	L12-0239	裸形と着装の人物史
215.5	L12-0241	村絵図Ⅲ -安城が原と碧海台地に展開した村々-
F760	L12-0242	Mozart
911.1	L12-0244	斎藤茂吉記念歌集 第38集
210	L12-0252	日本のアイデンティティ -形成と反響-
210	L12-0253	国際日本学 第9号
175	L12-0260	神々への祈り -神の若がえりとこころの再生
069.35	L12-0261	国立歴史民俗博物館要覧 2011 平成23年度版
290	L12-0062-b	私たちの最上川を未来へ -最上川流域の文化的景観-
212.3	L12-0265	市内遺跡発掘調査 -一角田郡山遺跡調査概報-
728	L12-0266	独往の人 會津八一
706.55	L12-0267	春日井市道風記念館30年のあゆみ
069.36	L12-0272-0273	東京都江戸東京博物館 調査報告書 第25集~26集
069.36	L12-0274	東京都江戸東京博物館資料目録 館蔵地図目録2 明治の地図
213.6	L12-0276	新八王子市史 資料編5 近現代1
362	L12-0279	記録史料と日本近世社会Ⅵ
069.25	L12-0281	「いにしえ」から「現代(いま)」そして「未来」へ
757	L12-0284	日本史色彩事典
291	L12-0285	国指定 史跡事典
210.47	L12-0286	戦国期越後上杉氏の研究
018.09	L12-0290	伊東祐彦関係資料目録
210.17	L12-0296	日本歴史災害事典
386	L12-0297	祇園祭の中世 -一室町・戦国期を中心に-
728	L12-0300	杉堂の書 第二集
728	L12-0301	義兮愛 第一集
728	L12-0302	義兮愛 第二集
386	L12-0306	祭 遊楽・祭礼・名所
517	L12-0307	京都市河川整備方針 ~京都らしい川づくり・水辺づくり~
210.4	L12-0308	中世公家政治文書論
703	L12-0309	鶴岡市所蔵 美術作品目録
791	L12-0312	表千家まこと会 六十周年記念誌
337	L12-0313	駒澤大学禅文化歴史博物館所蔵道教関係資料1 -一紙銭編-
709	L12-0314	平成23年度 国宝修理装工師連盟 第17回定期研修会報告集
629	L12-0316	特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡 特別名勝 一乗谷朝倉氏庭園 朝倉館跡庭園 修理整備報告書
213.5	L12-0319	ふなばし探訪手帖~四季を彩る 文化財~
724	L12-0321	100周年記念 日本水彩展図録
228	L12-0322	メソポタミアの神々と空想動物
228	L12-0323	空想動物の世界 -聖なる古代の物語-
913	L12-0328	「平家物語」とその時代
188	L12-0329	總持寺と近代禅僧
210.47	L12-0331	戦国武将と名城知略と民と呪いの秘話
521	L12-0332	戦国武将の城
457	L12-0333	恐竜時代のふくしま -化石が語るふくしまの古環境-
708	L12-0336	栃木に生きる -風土・ひと・芸術- [鑑賞ガイド]
708	L12-0337	「前衛の女性 1950-1975」展
702	L12-0338	栃木県の近代美術
708	L12-0339	十二の旅:感性と経験のイギリス美術
708	L12-0340	百年の物語 [鑑賞ガイド]

分類番号	図書番号	書名
708	L12-0341	長重之展く時空のバッセージー 一足利の来し方、世界の行く末一
723	L12-0342	関谷富貴 作品目録
723	L12-0343	清水登之展
723	L12-0344	清水登之
721	L12-0345	長谷川等伯ふるさと調査 事業報告書
212.6	L12-0346	阿津賀志山防塁史跡指定調査概報4・他
212.6	L12-0347	ふるさとの文化財 一菊池利雄先生「広報くにみ」文化財寄稿集一
212.2	L12-0352	もりおか歴史文化館常設展示ガイド
756	L12-0353	米山雲外遺稿集
490	L12-0354	華岡青洲の医塾春林軒と合水堂
216.2	L12-0355	地図と写真から見える！京の都 歴史を愉しむ！
911	L12-0356	句集 祇園囃子
723	L12-0357	近代洋画の開拓者 高橋由一
069	L12-0359	博物館の原則 博物館関係者の行動規範
069.52	L12-0361	真田宝物館収蔵品目録
759	L12-0362	からくり人形の世界 一その歴史とメカニズム一
210.52	L12-0365	佐賀藩 長崎警備のはじまり
753	L12-0367	祇園祭山鉦懸装品調査報告書 渡来装飾品の部
213.4	L12-0373	古墳時代の祈り ～内牧塚内古墳群と武蔵・下総の埴輪～
689	L12-0374	家族でおでかけ ～夏休みのおもいで～
069.35	L12-0375	国立歴史民俗博物館要覧 2012 平成24年度版
210	L12-0530	復興の日本史
468	L12-0378	岡山県の外来生物
K273.3	L12-0380	下平柳史（私家版）
217.5	L12-0381	よみがえる宗麟の栄華 DVD解説書
219.7	L12-0382	港湾都市鹿見島と高津氏 一海を見ていた殿様たち一
768	L12-0384	楽器は語る 一紀州藩主徳川治宝と君子の楽一
380	L12-0385	牛車（ぎっしゃ）
211	L12-0387	博物館等アイヌ資料展示・公開等助成事業案内 平成24年度版
069.37	L12-0391	横浜市歴史博物館資料目録 第20集
213.7	L12-0392	東海道保土ヶ谷宿
213.7	L12-0393	東海道保土ヶ谷宿資料集
387	L12-0394	火の神 生命の神 一古代のカマド信仰をさぐる一
210.2	L12-0395	海にこぎ出せ！弥生人
213.7	L12-0396	大倉精神文化研究所内遺跡出土資料報告書
213.7	L12-0397	相模国 鎌倉郡 鍛冶ヶ谷村と小岩井家
693	L12-0398	風景を伝える、持ち帰る 絵はがきあれこれ
210.4	L12-0402	教科書に出てくる歴史人物・文化遺産 ④鎌倉・室町時代
217.3	L12-0403	雲州松江の歴史をひもとく 一松江歴史館展示案内一
217.3	L12-0404	松江創世記 堀尾氏三代の国づくり
217.3	L12-0405	松江創世記 松江藩主 京極忠高の挑戦
217.3	L12-0406	江戸時代へ行こう！ 一松江城下町ものがたり一
217.3	L12-0407	松江藩士の息子画家になる。茶写真家になる。一ニューヨーク、野口英世の親友 堀尾郡とその父懐山一
069.64	L12-0409	神戸市立博物館収蔵品目録 考古・歴史の部 28
069.64	L12-0410	神戸市立博物館収蔵品目録 美術の部 28
210.2	L12-0412	豊穣と祈り一縄文女神たちの宴と古墳時代人の想い一
069	L12-0414-0419	調べてナットク！みんなの博物館 1～5・別巻
069	L12-0415-0419	調べてナットク！みんなの博物館 2 地球のはじまりと生物の進化を調べよう 恐竜の出現・人類へのあゆみ
708	L12-0420-0439	大系世界の美術 第1巻～第20巻
210.48	L12-0440	一個人 別冊 完全保存版 戦国武将の謎127 特別編集
069.21	L12-0445	八戸市博物館収蔵資料目録 民俗編（6）
721	L12-0448	狩野芳崖・高橋由一 一日本画も西洋画も帰する處は同一の処一
069.82	L12-0452	収蔵資料目録 4
686	L12-0454	昭和大鉄道展 ふるさとの汽車と電車 そして連絡船
723	L12-0455	池袋モンパルナス展 ようこそ、アトリエ村へ！
723	L12-0456	福沢一郎絵画研究所 進め！日本のシュルレアリスム
289	L12-0457	足利義満 公武に君臨した室町將軍
710	L12-0458	彫刻＝桜井祐一作品集 1934-1970
710	L12-0459	藤川勇造作品集
708	L12-0460	「現代名匠作品展」図録

分類番号	図書番号	書名
710	L12-0461	佐藤忠良作品集
710	L12-0462	平櫛田中作品選
702	L12-0463	世界のにっぽん 次代を担う作家たち
728	L12-0464	良寛
710	L12-0465	舟越保武
710	L12-0466	菊池一雄
723	L12-0467	原精一 裸婦アッサン集
712	L12-0468	池田宗弘作品集
708	L12-0469	原色現代日本の美術 第13巻 彫刻
715	L12-0470	佐藤忠良作品集 大きな帽子
710	L12-0471	柳原義達作品集
723	L12-0472	風俗と女たち 9
213.5	L12-0473	丹後国加佐郡上安久村安久村文書目録第四集（現京都府舞鶴市上安久）
213.5	L12-0474	丹後国加佐郡上安久村安久村文書目録第五集（現京都府舞鶴市上安久）
710	L12-0475	定本 木内克 普及版
720	L12-0476	小林古徑畫集
710	L12-0477	ブルダル 彫刻作品集
702	L12-0478	イタリア・ルネッサンスの大工房
702	L12-0479	ユスティニアヌス黄金時代
702	L12-0480	南太平洋美術
702	L12-0481	イタリア・ルネッサンス
702	L12-0482	黒人アフリカの美術
710	L12-0483	坂東文夫作品集
710	L12-0484	本郷 新
210.2	L12-0488	土偶・コスモス
212.5	L12-0489	出羽国成立1300年
710	L12-0492	彫刻＝佐藤忠良 1949-1971
708	L12-0493	「現代巨匠作品展」図録
710	L12-0494	美ヶ原高原美術館
710	L12-0495	水島弘一彫刻作品集
708	L12-0496	美の寶庫
708	L12-0497	美の寶庫（増補改訂）
703	L12-0499	現代美術家名鑑 特輯號
703	L12-0501	国画家人名簿 1979
703	L12-0502	国画家展覧会目録 38回 1964
703	L12-0503	国画家展覧会目録 46回 1972
703	L12-0504	国画家展覧会目録 52回 1978
703	L12-0506	国画家人名簿 1977
K704	L12-0507-0511	今泉篤男著作集1～5
F712	L12-0512	Marino Marini
712	L12-0513	マリノ・マリニー
F712	L12-0514	Encyclopedie Photographique De L' art
F712	L12-0515	Aristide Maillol et l' ame de la sculpture
F712	L12-0516	Giacomo Manzu
F712	L12-0517	Venanzo Crocetti
F712	L12-0518	Pericle Fazzini
F712	L12-0519	Crocetti
F712	L12-0520	Raccolta amici di Manzu
710	L12-0521	箱根・彫刻の森美術館
713	L12-0522	鉄砲虫の一生 九十六翁平櫛田中
833	L12-0524	ウェブスター英和辞典
712	L12-0525	Giacomo Manzu
F712	L12-0526	Sculpture en France, XXe siecle
712	L12-0527	木村五郎作品集
380	L12-0528	白鳥
712	L12-0529	桜井祐一作品集
723	L12-0546	ミケランジェロ素描全集 第1巻
217.6	L12-0532	福島正則の20年
383	L12-0533	江戸のおしゃれ
212.6	L12-0534	京都守護職拜命150年と新島八重

分類番号	図書番号	書名
586	L12-0539	土浦周辺のはたおり調査報告書2
186	L12-0540	琵琶湖をめぐる近江路の神と仏 名宝展
911	L12-0542	藤井文庫 和歌古短冊名品展
911	L12-0543	童謡画集
754	L12-0544	作って遊ぶ! 飾って楽しい! おりがみ百科
K376	L12-0545	九里学園の教育 41
380	L12-0547	民俗の宝庫(三遠南信)の発見と発信 -柳田國男・折口信夫による調査研究のあゆみ-
210.58	L12-0548	「朝敵」たちの幕末維新
210.48	L12-0549	歴史REAL 戦国武将入門
222	L12-0551	歴史スペクタクル 人間の真実の記録 史記ワールド
K723	L12-0552-a	美の系譜 国画会にみる山形ゆかりの美術
291.26	L12-0553-0555	がんばっぺ! 福島 01~03 I LOVE FUKUSHIMA
289	L12-0556	ハンサムに生きる 新島襄を語る (七)
289	L12-0557	日本の元氣印・新島八重 新島襄を語る 別巻(一)
280	L12-0558	日本の誇り103人 一気のでる歴史人物講座-
712	L12-0559	茨木敏夫作品集
188	L12-0561	駒澤大学禅文化歴史博物館所蔵版木資料1 -正法眼蔵辨註-
721	L12-0562	没後90年 庄内ゆかりの画人「池田月潭」日本画の世界
402	L12-0563	高島平蘭学事始
913	L12-0564	富士市にまつわる物語絵
291.34	L12-0565	絵図の世界 ~描かれた背景をさぐる~
759	L12-0566	宮崎の土人形 ~佐渡原人形の世界~ 展示図録
756	L12-0567	新作名刀展 -現代の刀工と刀職-
500	L12-0569	安全工学 vol.51 No.2 (2012)
521	L12-0570	豊臣期大坂図屏風
217.3	L12-0571	要覧
217.6	L12-0573	旅人の見た安芸
215.2	L12-0574	文人名 真田幸弘とその時代
490	L12-0575	建部清庵生誕300年江戸時代の病と医療
388	L12-0576	みちのく鬼めぐり
384	L12-0578	江戸の旅 たどる道、えがかれる風景
186	L12-0580	会津の寺宝
210.2	L12-0582	東日本の古墳と渡来文化 -海を越える人とモノ-
460.36	L12-0583	国立科学博物館概要2010
723	L12-0586	竹石保文展
921	L12-0588	漢詩へのパスポート
175	L12-0589	ゼロからわかる神社入門
723	L12-0592	日動展 第43回
723	L12-0594	ヘンリー・杉本とその時代
210.4	L12-0595	上杉憲顕
210.46	L12-0596	足軽の誕生 室町時代の光と影
291.62	L12-0597	大学的京都ガイド-こだわりの歩き方
377	L12-0598	大瓜生山祭 monoful モノクロ×カラフル
213.4	L12-0600	譜代大名秋元家と川越藩 -川越織物の礎を築いた大名秋元家-
614	L12-0601	黒井堰史
614	L12-0602	黒井堰史(下)
210.48	L12-0604	図録信長
709	L12-0605	東京文化財研究所 概要 2012
759	L12-0607	ひな人形の世界 9
069.81	L12-0608	徳島歴史玉手箱 新収蔵品展
629	L12-0609	中田勝康写真展 旧徳島城表御殿庭園の魅力を探る
480	L12-0610	こども博物館 動物たちのイメージ
721	L12-0611	日本美術百科辞典 巻2
069.55	L12-0612	かわる安城・60年の軌跡
909	L12-0613	安城の新美南吉
291.32	L12-0614	近世小山見聞録 展示解説図録
718	L12-0691・0616	国宝彫像 1・2
718	L12-0617	国宝彫像 解説篇
521	L12-0618	秀吉の城
069.41	L12-0619	「御所参内・聚楽第行幸図屏風」学術調査報告書

分類番号	図書番号	書名
706.55	L12-0620	徳川美術館ガイドブック
791	L12-0621	茶人井伊直弼と幕末のやきもの
216.1	L12-0622	井伊家と彦根藩
216.1	L12-0623	武器と武具
216.1	L12-0624	彦根屏風と書画
216.1	L12-0625	茶道具と調度
216.1	L12-0626	能と雅楽
756	L12-0627	日本新古著名刀匠一覽
210.5	L12-0628	徳川幕府諸侯格式一覽表(慶応年間排列)
K288	L12-0629-a	臨濟宗 大雄山 興禪寺 上杉家墓地略図
210.5	L12-0630-a	諸奉公人屋鋪絵図, 南原五ヶ町, 六十在家, 長手新田
K288	L12-0631	上杉氏系図 藤原姓上杉氏
210.48	L12-0632	「唐入り」の時代 -秀吉の大陸出兵と大名たち-
218.1	L12-0633	阿波蜂須賀家の粹 館蔵名品展
218.1	L12-0634	阿波の名所と観光
069.52	L12-0635-0637	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史11~13
457	L12-0638	よみがえれ! 恐竜たち -大むかしの生命をさぐる-
793	L12-0690	いけばな池坊550年記念誌 花の礎 歴史・支部編
289	L12-0640	足利尊氏と足利氏の世界
524	L12-0641	日本の白い壁 石灰がつくり出す多様な世界
702	L12-0642	へんな日本美術史
021	L12-0644	めぞそう! 著作権なんでも博士
210.2	L12-0646	発掘された日本列島2000&香川の発掘最前線
386	L12-0653	行列にみる近世 -武士と異国と祭礼と-
689	L12-0656	旅鶴 冬号 2012
210.1	L12-0657	日本社会の歴史 上 原始・古代~近世
210.48	L12-0658	忍城合戦の真実
K175	L12-0659	上杉治憲敬師郊迎と羽黒神社
210.47	L12-0661	戦国大名 尼子氏の興亡
069.26	L12-0662	福島県立博物館資料百選
335	L12-0665	山形県企業立地ガイド
K209.5	L12-0666	嚶鳴フォーラムin米沢
K288	L12-0669	上杉氏系図
K726	L12-0670	悦平会記録 漫画
702	L12-0672	2012 CAF.NEBULA展
728	L12-0673	樺墨書院展作品集 第49回
728	L12-0677	樺墨書院展 第49回
212.6	L12-0678	遙かなる時の遺産 国見町史跡・文化財マップ
210.5	L12-0630-b	諸奉公人屋鋪絵図, 南原五ヶ町, 六十在家, 長手新田
689	L12-0679	旅鶴 夏号 2012
K289	L12-0680	MSN産経「先人めぐり」
721	L12-0685	没後三十年 湖北の画人 沢宏毅
386	L12-0686	桜井町の棒の手・馬の搭
215.3	L12-0687	織田信長と美濃・尾張
210	L12-0688	決定版 ビジュアル日本史531人
210.48	L12-0695	歴史人 別冊
210.47	L12-0696	歴史魂 戦国武将巡礼の旅
562	L12-0697	黄金の国々 -甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山-
K212.5	L12-0698-a	山吉家文書復刻
210.47	L12-0699	戦国軍師烈伝
210	L12-0700	歴史用語ハンドブック
399	L12-0701	心ときめくヒーローたちのバイブル 孫子の兵法
156	L12-0702	誉れ高き日本人の原点を探る 武士道と葉隠
810	L12-0703	JF 日本語教育スタンダード準拠コースブック まるごと 日本のことばと文化
214.4	L12-0712	古代越前の文字
210.52	L12-0713	大坂の陣と越前勢
213.1	L12-0716	土浦桜物語 -サクラに読みとく土浦近代史-
212.5	L12-0717	山形の宝探訪
728	L12-0719	北燕
474	L12-0721	清水大典 冬虫夏草原図複製<日本冬虫夏草の会 発足20周年記念>

分類番号	図書番号	書名
684	L12-0722	琵琶湖の船が結ぶ絆 一丸木船・丸子船から「うみのこ」まで一
210.4	L12-0723	大内義弘
213.3	L12-0724	戦国史 一上州の150年戦争一
K212.5	L12-0725	中世やまがたの城館 一そこに城館がある理由一
386	L12-0726	やまなしの道祖神祭り どうぞじん・ワンダーワールド
909	L12-0727	新版 児童文学概論
383	L12-0728	たくみのたくらみ きせる・たばこ益・たばこ入れにみる職人の手技
901	L12-0732	抜萃のつづり その72
K289	L12-0733	我妻栄先生生誕百年記念事業
728	L12-0734~0735	樺墨書院展 第46~47回
728	L12-0735	樺墨書院展 第47回
718	L12-0740	湖北の観音 一信仰文化の底流をさぐる一
723	L12-0741	会田誠：天才でごめんさい
213.5	L12-0742	丹後国田辺城下竹屋町文書目録（京都府舞鶴市竹屋）
213.5	L12-0743	図説 印旛の歴史
521	L12-0744	信長の城
185	L12-0745	高安寺もの語り
756	L12-0746	生と死 武士の美学
521	L12-0747	鉢形城指南
210.7	L12-0749	特攻 一つの時代を駆け抜けたある青年の記録
791	L12-0751	神野御茶屋 一殿様の別邸
213.5	L12-0753	愛媛県宇和島市三浦公民館文書目録第1集(大内自治会文書・西三浦公民館文書)
213.5	L12-0754	愛媛県宇和島市三浦公民館文書目録第2集(西三浦公民館文書・三浦公民館西分館文書)(川井又一郎氏収集文書)(三浦田中家文書補遺)
759	L12-0755	復興祈願!七転び八起き・開運招福 白河だるまと全国のだるま
156	L12-0758	入門 武士道
069.81	L12-0759	新収蔵品展
759	L12-0760	阿波の木偶門付け芸
386	L12-0761	林鼓浪 一画業と生活一
291.81	L12-0762	阿波絵図の世界II
281	L12-0763	徳島藩主蜂須賀家 歴代肖像画の世界
213.1	L12-0764	古代の筑波山信仰 一内海をめぐる祭祀の源流一
213.6	L12-0766	地域史シリーズ いたばし
723	L12-0767	高山良策展 一幻想世界の表現者一
K210.08	L12-0768-a	上杉家文書国宝への道 一修復と紙の世界一
721	L12-0769	館蔵浮世絵に見る さくらいろいろ
213.5	L12-0771	絵図からみたいちかわ
K517	L12-0773	直江兼統のまちづくり 一治水編一
721	L12-0774	役者に首ったけ!
K517	L12-0775	直江兼統のまちづくり 一利水編一
213.4	L12-0776	かすかべ 地形探検 一12.5万年前から現代まで一
069.35	L12-0777	国立歴史民俗博物館要覧 平成22年度 2010年度
069.35	L12-0778	国立歴史民俗博物館要覧 平成19年度 2007年度
728	L12-0779	輝く樺墨書院一年の歩み 平成22年度
728	L12-0780	樺墨書院展 第44回

分類番号	図書番号	書名
706.41	L12-0781	新潟市美術館 常設展II 2009年10月4日(日)~2010年4月18日
693	L12-0783	収蔵品展 一百年前の絵はがき一
218.1	L12-0784	飯原一夫絵画展 一描かれた阿波の道一
186	L12-0785	徳島県指定文化財 「加賀友禅堂 西国三十三観音像」展
911	L12-0786	俳人 加藤楸邨と粕壁
185	L12-0787	安養寺の歴史と文化
361	L12-0788	講一村の人びとの集い
210.7	L12-0789	永遠に伝えたい記憶
345	L12-0790	酒税が国を支えた時代
689	L12-0791	越後長岡 戊辰・河井継之助ゆかりの地 ガイドブック
210.4	L12-0792	環境の日本史 3 中世の環境と開発・生業
215.5	L12-0794	村絵図II 一江戸時代の油ヶ瀬と周辺の村々一
291.038	L12-0795	伊能図里帰り展II 一鷹見泉石コレクションから一
213	L12-0796	戦後65年 一板橋の戦争と銃後一
750	L12-0798	AINU ART 一風のかたりべ一
361	L12-0800	部落解放史の最前線 一啓発・教育の現場と研究をつなぐ一
379	L12-0802	ART LETTER 情報誌アートレター 10周年特別号
689	L12-0805	旅鶴 春号 2013
210	L12-0806	絵巻物と写真でわかる 日本史の出来事
388	L12-0807	こわい!びっく!日本の不思議伝説大図鑑 雪女・河童から平将門まで
756	L12-0808	備前刀 一日本刀の王者一
910	L12-0809	洛中洛外画狂伝 狩野永徳
210.47	L12-0810	神になった戦国大名 上杉謙信の神格化と秘密祭祀
213.4	L12-0811	さいたま考古学のはじまり 安岡路洋 考古コレクション展
751	L12-0812	李秉昌博士記念 韓国陶磁研究報告 6
289	L12-0813	上杉茂憲 一沖繩県令になった最後の米沢藩主一
K830	L12-0814	A C O R N 第26号
361	L12-0815	環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究
218.2	L12-0817	高松平家博物館図譜 写生画帖 雑草
185	L12-0819	お殿さまとお寺 一富山前田家ゆかりの寺々一
726	L12-0820	中原淳一の生きた戦中・戦後 一少女像にこめた夢と憧れ一
521	L12-0821	にいがたの近代建築 一明治・大正・昭和戦前期の建物一
614	L12-0822	開墾の技術史一蒲原平野のたんぼとはたけ一 図録
712	L12-0824	彫刻家 大平龍一 ぼうけんやろく展カタログ
751	L12-0825	古代ガラス 一色彩の饗宴一
K740	L12-0826	武者道沿いの風景 2012-2013 むしゃみち歩き隊♪
754	L12-0827	妖怪おりがみ
588	L12-0828	季節を楽しむ和菓子12カ月
588	L12-0829	彩の和菓子 春紀行
210	L12-0830	感動する!日本史
210	L12-0831	NHK カルチャーラジオ 歴史再発見 「黄金」から見直す日本史
375	L12-0832	よりよい自分をつくっていくためにIII
723	L12-0833	佐竹徳の世界
210.2	L12-0835	特別史跡福井県立一乗谷浅倉氏遺跡 42
K290	L12-0836	米沢にしかない「武者道」武者道界隈 見どころ散歩 むしゃみちM3マップ 2013年版

5 保 管

(1) 資料整理・保管

新規受け入れ資料・図書のデータベース登録とラベリング、保管・管理
 市内小中学校作品貸出
 米沢市議会棟アートアセンブリ展示作品貸出
 米沢市役所への作品貸出

□緊急雇用制度を活用した資料整理

- ①資料管理データベースにおいて収蔵品の画像登録を行い、資料管理画面へのリンクを整備した。
 ②近年大幅に増加している博物館への寄贈・購入資料の基本調書を作成し、長期保存に耐えうるようにクリーニングを行い、保存袋、保存箱へ分類整理・収納を行った。

①収蔵資料画像登録・確認・データベースリンク作業

区 分	点 数	備 考
絵画	5292	
彫刻	354	
工芸(武器・武具含む)	547	
生活資料	112	
歴史資料	4847	
小 計	11152	
栗林家資料	1314	(絵画・歴史資料・工芸)
上杉家文書	5750	(歴史資料)

■収蔵資料数 (平成24年度)

大分類	23年度末資料総数	24年度受入点数	24年度末資料総数
歴 史 資 料	20,730	146	20,876
絵 画	1,801	99	1,900
彫 刻	297	5	302
工 芸	747	0	747
刀 剣	71	1	72
書 跡	1,574	13	1,587
生 活 資 料	3,127	0	3,127
写 真	405	0	405
合 計	28,752	264	29,016

■館蔵資料貸出 21件

■館蔵資料掲載申請件数 314件

■館蔵資料特別利用件数 21件

(2) 修理

- ①A2000-0236 掛軸 平賀守宛上杉景勝朱印状 1幅 *締め直し
 ②A2002-0-929 掛軸 広田出雲守宛上杉謙信宛行状 1幅 *締め直し(旧裏巻使用)・桐箱、太巻新調。
 ③A2000-0226 卷子 上杉景勝書状(庄司文書) 1巻 *表装新調(旧綴子をなるべく再利用。裂新調も含む)
 ④A2011-001-1~6 卷子 蓬田文書6点貼混

②-1. 文献・美術資料の基本情報の入力

成果品No	区分	受入年度	文献群名	点数
①	歴史資料	館蔵 S62	上杉子爵家文書1	200
		館蔵 H09	伊東家資料(忠太)	486
		館蔵 H12	小山家文書	321
		館蔵 H12	栗林家文書	1318
		館蔵 H13	黒井家文書	248
		館蔵 H13	吉川文書	322
		館蔵 H14	中津川家文書	282
		館蔵 H15	上杉子爵家文書2	302
		館蔵 H15	上杉子爵家文書3	131
		館蔵 H15	宮島資料	1258
		館蔵 H16	栗林家文書	50
		館蔵 H16	桑原文書	209
		館蔵 H17	蓼沼文書	89
		館蔵 H17	伊東家資料(藩医)	1149
調整中	平田文書	257		
調整中	武藤家文書	176		
②	美術資料	浜田浜雄	水彩画のデータベース登録	7000

13,802

②-2. 館蔵品の撮影・調査結果のデータ入力

③	美術資料	椿 貞雄資料	日記解読テキスト入力	2190点
④		後藤克芳資料	写真資料	962カット
			周辺資料	355点
			作品ポジフィルム	212点
⑤	桜井祐一資料	H24寄贈 デッサン帳の写真撮影とリスト化	2531点	
⑥		写真資料整理	920点	

4,980

(年未詳) 二月十五日、(宛先未詳) 本山道寒宗勝書状他 (年未詳) 三月廿日 蓬田逸兵衛宛 平蔵(カ)書状
(年未詳) 卯月二日 蓬田寒松齋宛 直江兼統書状 (年未詳) 八月晦日 蓬田逸兵衛宛 水原親憲書状
(年未詳) 八月十四日 蓬田寒松齋宛 ■■■石見守書状
(年未詳) 十一月十七日 蓬田逸兵衛宛 ■■■左■■■書状

* 以上桐箱新調

⑤A2010-006-02 額 上村廣成 文殊堂之曙 1面

* 本紙穴修復仕上げ * 裏、表貼り替え、表緞子貼り * ダンボール箱新調

⑥A2002-610 雨の前 1934(昭和9)年 土田文雄 額 油彩、画布 60×72(cm)

作品の状態

- ・ 絵具層の欠損が2箇所発生している。1箇所は上辺から12cm、左辺から25cmの位置に1cmほどの範囲で、もう1箇所は上辺から11cm、左辺から21cmの位置に0.3cmほどの範囲で生じている。
- ・ 絵具層欠損箇所の周囲は、絵具の固着状態が悪く、剥離している部分がある。
- ・ 画布の張りむらによる絵具層の亀裂があるが、絵具層の固着はよく、特に問題はない。
- ・ 白色の付着物が、右辺から26cm、上辺より0.5cmの位置から右から左に向かって7cmほどの長さで付着している。
- ・ 裏面には埃が付着している。

額の状態

- ・ グレージング、裏蓋はない。・ 入子と作品の間に隙間がある。
- ・ 塗装が剥落している部分がある。・ 作品は額に釘止めしてある。

処置方針

作品

- ・ 絵具層欠損箇所の周囲の亀裂と剥離は、作品の取り扱いや移動の際に、損傷が進んでしまう恐れがあるため、固着強化し、剥落箇所は充填、補彩を施す。
- ・ 付着物、裏面の埃は除去する。

額

- ・ 作品に埃が付着することを防ぎ、温湿度変化の影響をなるべく受けないようにするとともに、取り扱いをしやすくするため、裏蓋を取り付ける。
- ・ 塗装は、白色の下地部分のみ色をさし、剥落部分が目立たないようにする。
- ・ 作品は額にT字金具で固定し、隙間にはスペーサーを入れる。

作業工程

1. 修復前の状態調査を行い記録する。
2. 絵具層の亀裂と浮き上がり箇所を固着強化する。
3. 裏面の埃などの付着物を取り除く。
4. 表面の埃や付着物を除去する。
5. 絵具剥落箇所を充填、整形する。
6. 充填箇所を補彩する。
7. 額に裏蓋を取り付ける。
8. 額入れ
9. 修復報告書を作成。



⑦A2002-612 海岸の丘 土田文雄 1929(昭和4)年 額 油彩、画布 65×50(cm)

作品の状態

- ・ 付着物がある。・ 裏面に埃が付着している。

額の状態

- ・ グレージング、裏蓋はない。・ 入子と作品の間に隙間がある。

処置方針

作品

- ・ 表面の付着物は除去し、裏面に付着した埃は清掃する。

額

- ・ 埃の付着を防止し、温湿度変化の影響をなるべく受けないようにするとともに、取り扱いをしやすくするため裏蓋を取り付ける。
- ・ 作品は額にT字金具で固定し、隙間にはスペーサーを入れる。

作業工程

1. 修復前の状態の調査を行い記録する。
2. 裏面の埃などの付着物を取り除く。
3. 表面の埃や付着物を除去する。
4. 額に裏蓋を取り付ける。
5. 額入れする。
6. 修復報告書を作成。

⑨A2002-019 風景(仮) 土田文雄 制作年不詳 額 油彩、画布 65×50 (cm)

作品の状態

- ・支持体に変形があり、絵具の欠損もある。
- ・裏面に埃が付着している。

額の状態

- ・グレージング、裏蓋はない。・入子と作品の間に隙間がある。

処置方針

作品

- ・表面の付着物は除去し、裏面に付着した埃は清掃する。
- ・耳の補強、欠損部を充填し補彩する

額

- ・新潮する。

作業工程

1. 修復前の状態調査を行い記録する。
2. 裏面の埃などの付着物を取り除く。
3. 表面の埃や付着物を除去する。
4. 額を新調する。
5. 修復報告書を作成する。

⑧A2002-604 浅間雨後 土田文雄 制作年未詳 額 油彩、画布 60×79 (cm)

作品の状態

- ・絵具層に、経年による網目状の亀裂が発生している。発生範囲は画面全体にわたる。
- ・絵具層の亀裂が進行して、剥離と欠損が生じている部分がある。剥離と剥落はとくに、青色の部分に観察される。例えば右辺から15cm、下辺から23cmの位置に、13cm×10cmの範囲で剥離と欠損が発生している。剥落片の大きさは、1.5cm角から2cm角ほどである。
- ・画面、裏面とも埃が付着している。

額の状態

- ・グレージング、裏蓋はない。・入子と作品の間に隙間がある。
- ・作品は額に釘止めしてある。

処置方針

作品

- ・絵具層欠損箇所の周囲の亀裂と剥離は、作品の取り扱いや移動の際に、損傷が進んでしまう恐れがあるため、固着強化し、剥落箇所は充填、補彩を施す。
- ・画面、裏面の埃は除去する

額

- ・埃の付着を防止し、温湿度変化の影響をなるべく受けないようにするとともに、取り扱いをしやすくするため裏蓋を取り付ける。
- ・作品は額にT字金具で固定し、隙間にはスペーサーを入れる。

作業工程

1. 修復前の状態調査を行い記録する。
2. 絵具層の亀裂と浮き上がり箇所を固着強化する。
3. 裏面の埃などの付着物を取り除く。
4. 表面の埃を除去する。
5. 絵具剥落箇所を充填、整形する。
6. 充填箇所を補彩する。
7. 額に裏蓋を取り付ける。
8. 額入れ
9. 修復報告書を作成する。

(3) 博物館環境

I P M

- ・一般・特別収蔵庫の定期清掃
- ・展示倉庫の定期清掃
- ・トラックヤードへの虫捕りテープの設置
- ・館内空調のフィルタの設置
- ・環境モニタによるチェック
- ・パッシブドインジケータによる有機酸のチェックなど

新規受入資料の燻蒸作業(8月)

- ・トラックヤードにおいてフレーム燻蒸を行った。

6 管理・運営

(1) 利用状況

平成24年度入館者統計

常設展（月別）

（単位：名）

月	一般	高大生	小中生	合計
4月	6,007	106	460	6,573
5月	8,029	233	1,888	10,150
6月	4,746	218	2,077	7,041
7月	4,410	202	943	5,555
8月	6,710	510	1,031	8,251
9月	4,719	211	1,253	6,183
10月	6,153	148	1,453	7,754
11月	4,197	88	482	4,767
12月	1,383	39	42	1,464
1月	1,416	50	64	1,530
2月	1,680	158	61	1,899
3月	2,224	227	175	2,626
合計	51,674	2,190	9,929	63,793

体験学習室利用者数

（単位：名）

月	利用者
4月	1,150
5月	1,270
6月	679
7月	752
8月	1,364
9月	928
10月	642
11月	653
12月	291
1月	403
2月	536
3月	923
合計	9,591

企画展別入場者数

（単位：名）

企画展名・会期	一般	高大生	小中生	合計
遠藤桑珠・福王寺法林追悼展 平成24年3月10日～4月8日(※)(50日間)	1,319			1,319
特別展「上杉鷹山の財政改革 国と民の幸せ」 平成24年4月14日～6月3日(日間)	11,789	342	2,000	14,131
企画展「日本の洋画始まる 日本近代洋画への道」 平成24年6月9日～7月1日(38日間)	2,068	176	1,226	3,470
企画展「安部朱美創作人形展 昭和の家族 きずな」 平成24年7月2日～9月30日(63日間)	13,540	312	1,654	15,506
企画展「美の系譜～国画会にみる山形ゆかりの美術～」 平成24年10月6日～11月25日(50日間)	3,067	134	1,268	4,469
企画展「米沢藩絵図の世界」 平成24年12月8日～2月17日(52日間)	3,735	125	144	4,004
企画展「上杉家文書国宝への道～修復と紙の世界～」 平成24年2月23日～3月31日(日間)	2,584	271	157	3,012
	38,102	1,360	6,449	45,911

※日数、入館者数は平成24年度中(4/1～4/8)のもの

(2) 平成24年度発行物

伝国の杜だより VOL. 22
8頁 平成24年9月 5,300部発行

伝国の杜だより VOL. 23
8頁 平成25年3月 5,300部発行

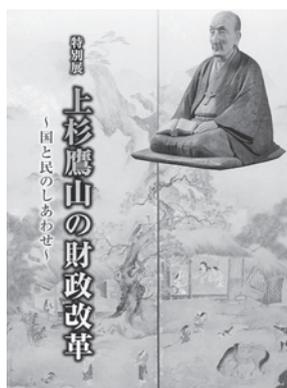
伝国の杜ファンクラブ会報 VOL. 9
A3三折 300部発行

伝国の杜ファンクラブ会報 VOL. 10
A3三折 300部発行

上杉鷹山の財政改革—国と民のしあわせ—
88頁 平成24年4月 1,000冊発行

美の系譜 国画会にみる山形ゆかりの美術
24頁 平成24年10月 500冊発行

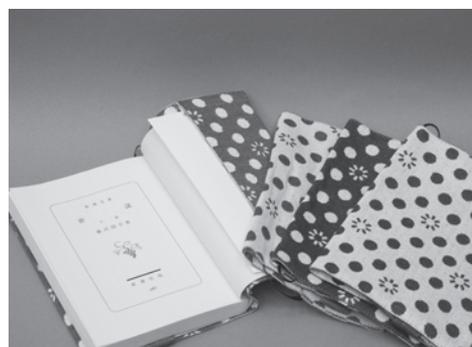
上杉家文書国宝への道—修復と紙の世界—
84頁 平成25年2月 800冊発行



(3) ミュージアムショップ商品紹介

当館ミュージアムショップで販売しているミュージアムグッズの売れ筋ランキングです。

順位	商 品 名
1	花押シール
2	成せば成る湯呑み
3	上杉鷹山なせばなるトートバック
4	手拭い なせばなる／青
5	ポストカード 上杉鷹山
6	洛中洛外図屏風 クリアファイル
7	洛中洛外図屏風 立体はがき 2枚
8	ポストカード 正月の内裏
9	手拭い なせばなる／赤
10	花押メモ帳



米織小紋ブックカバー

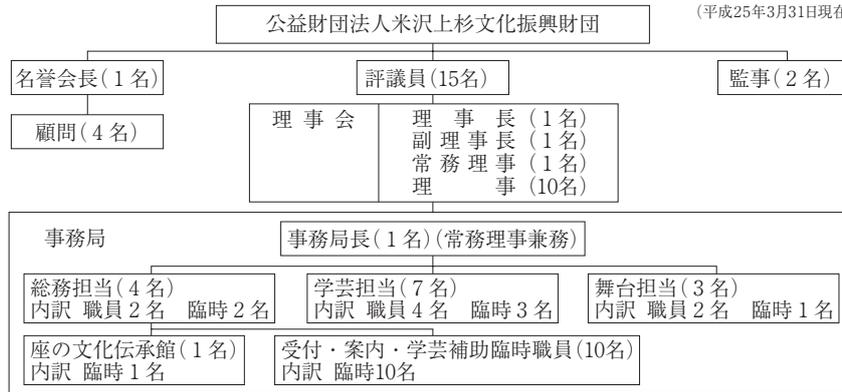
(4) 事業評価

今年度も展覧会事業を中心に事業評価を実施した。事業担当者の自己評価の他、内部職員の部署ごとに評価シートを作成し、事業の評価のほか自己の業務取り組みの振り返りの内容を盛り込んだ内容の一部改変した。外部評価としては来館者アンケートのほか、伝国の杜運営協議会委員へ評価アンケートを依頼し、総括時に反映させた。

組 織

1 公益財団法人米沢上杉文化振興財団

(平成25年3月31日現在)



平成元年、上杉家16代当主隆憲氏より、重要文化財「上杉家文書」・重要文化財「紙本金地著色洛中洛外図」(ともに現在は国宝)・県指定文化財「紙本著色厩図」・重要美術品「太刀銘長船長光附打刀拵」の4件が米沢市に寄贈されたことを機として、平成2年3月22日に財団法人米沢上杉文化振興財団が設立され、米沢市立上杉博物館(平成13年9月29日から米沢市上杉博物館)の管理運営を米沢市から受託することになった。平成18年からは米沢市上杉博物館の指定管理者として、管理運営を行っている。また、財団は平成24年4月1日に公益法人へ移行し、公益財団法人米沢上杉文化振興財団となり現在に至っている。

財団は、貴重な地域資源を活かしながら、地域における歴史・芸術文化の振興を図り、地域住民の文化的教養を高めることによって、心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与することを目的としており、博物館において歴史・芸術文化の調査研究・公開展示等に関する事業や教育普及に関する事業などを行っている。

役 員 (敬称略 順不同)

名誉会長	上杉 邦憲						
顧問	安部三十郎	佐藤ひさし	高橋 幸翁	上杉 季雄			
理事長	伊藤 和夫						
副理事長	亀岡 博						
常務理事	磯部 道昭						
理事	上杉紀美子	上杉 裕憲	小嶋彌左衛門	小林 正夫	斎藤 栄助	酒井 彰	
	佐藤 政一	真田 幸光	大乘寺 健	種村 信次			
評議員	板垣 正明	遠藤 恵子	笥 統子	川合 重穂	九里 廣志	佐藤美保子	
	鈴木 秀男	高橋 英機	高橋 幹夫	田中 米子	手塚 正	原田 時子	
	宮坂 直樹	山中 絢子	涌井 旦一				
監事	遠藤 善則	加藤 英樹					

事務局

事務局長	磯部 道昭						
事務局員	角屋由美子	花田 美穂	生熊 郁子	阿部 哲人	安部 理絵	寒河江大輔	
	遠藤 友紀	浅野 希梨					

2 伝国の杜運営協議会

公益財団法人米沢上杉文化振興財団が指定管理者として管理する米沢市上杉博物館および、隣接する置賜文化ホールで開催する自主事業等の適切な運営を図るために設立された諮問機関。

伝国の杜運営協議会員

高橋由紀男 (学校教育関係者)	志摩 宏之 (学校教育関係者)	遠藤 英 (学校教育関係者)
発智 由紀 (学校教育関係者)	内藤 文徳 (学識経験者)	安部 徹 (学識経験者)
貝沼 安造 (学識経験者)	黒田 三佳 (学識経験者)	原 淳一郎 (学校教育関係者)
加藤ヨシ子 (学識経験者)	遠藤 妙子 (学識経験者)	楠 裕行 (学識経験者)
本田 和也 (学識経験者)		

春秋耕作図屏風

左近司惟春

江戸時代

紙本著色

六曲一双

右隻 161.5×351.8

左隻 164.1×353.1

農耕図の歴史は、中国の風景や風俗などを題材とした奈良時代まで遡ります。本屏風でも耕作図の様式にのっとり、右隻に春の田植え、左隻に秋の実りの風景を描いています。作者左近司惟春は米沢藩の中級武士であり、また絵師としての側面が知られています。その活動期は、上杉鷹山の後半生の時期にあたります。左近司の生きた時代は鷹山の改革によって一定の安定がはかられたと考えられ、この絵のように老若男女が豊かに暮らす村の風景を切に願っていたことでしょう。



米沢市上杉博物館 年報 VOL.25

平成25年10月印刷・発行

編集：公益財団法人 米沢上杉文化振興財団 発行：米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1

TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660

印刷：有限会社 富士印刷

Feel the arts

伝国の杜

DENKOKU NO MORI

